京城日報

廿三日夕刊

定價　一部金五錢　一ケ月金六拾五錢
廣告料　五號活字一行金七拾錢
發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社　京城日報社

米墨軍戰鬪開始

エルバソ來電に據れば米國騎兵の一隊はカランザ軍とエルバソを距る九十哩のカーリジャルに於て衝突し戰鬪を開始せり、米軍は此の戰鬪に於て四十名の死者、多數の負傷者を出せり、墨西哥軍は米軍に比し死傷少數なりと云ふ又墨軍司令官リヴアスの報告せる所に據れば米軍の損失は四十名墨軍の負傷は多からずとあり(桑港電報)

希臘內閣終に瓦解

雅典來電に曰く數箇月に渉る爭鬪の後希臘內閣の辭職は終に實現せられたりザイミス氏は後繼內閣を組織すべく召還せられたり(倫敦電報)

露軍のセント占領

露軍はセレトを占領したり(倫敦電報)

露獨墺全線の戰況

敵はプロシロフ軍の戰線の所々にて激烈なる逆襲を繼續しつゝあり、又ブチヤチヤの北方なるストリツパにて必死となりて我軍に抵抗しつゝあり敵の最右端は潰亂して退却し優越なる我軍の追擊を受けつゝあり露軍はブランツエル軍を急激に追擊し行程百十三哩に及べるがレデイン將軍は敵のコヴエル、レンムベルグ間の連絡を切斷するの目的を以て西方よりヴラデイミル、ヴオリンスクの南方に敵を壓迫しつゝあり、レデイン軍が南方二百八十哩の戰線を擴張せる事はブロデイよりレムベルグ方面へ活動しつゝある露軍と聯絡すべき事を豫想せしむ、ドヴヰナ戰線の露軍は各所の敵陣地を強烈に砲擊しつゝあり(露都電報)

段國務卿辭表提出

國務卿段祺瑞氏は黎總統の手許に辭表を提出せり黎總統は辭意を飜さしめんと引留中なるも黎段兩氏の融和は困難なるべし(東京電報)

梁士詒免職

稅務督辦梁士詒免職せられたり(東京電報)

駐日公使更迭

駐日公使陸宗輿氏は辭職し現司法總長章宗祥氏後任に決定せり(北京特電)

決議實行不強要

巴里に於ける經濟會議の決議事項は實行を強要せずと(東京電報)

工場法又修正

樞密院にては又復工場法案を修正すべしと(東京電報)

大森男宮相説

大森鍾一男の皇后宮大夫に任命せられたるは近く退任すべき波多野宮相の後任たるべき前提なりとの說專らなり(東京電報)

山縣公快癒

小田原　古稀庵にて靜養中なる山縣元帥は病氣全く快癒せるを以て近日上京すべしと(東京電報)

ル總督入洛

佛領印度支那總督エー、ルーム氏は廿三日入洛數日間滯在の豫定なりと(京都特電)

浪人團の警告

支那浪人團は政府の對支方針に反對し警告を發したり(東京電報)

又復發賣禁止

爆彈事件公判廷に於ける辯論筆記記載の新聞紙は又復其筋より發賣頒布を禁止せられたり(東京電報)

牧馬事業準備進捗

經營開始は本年十月の見込

本年度の新規計畫たる牧馬事業は其後諸般の準備著々進捗し牧場の如きも洗浦附近なる淮陽郡蘭谷面に於て約一千五百町歩を劃し買收中なるが成績良好にして交渉纏りたる個所尠からざるを以て雨期を經過次第廳舍百五十坪、飼料舍、事務所其の他百五十坪、合計三百坪數棟の建築に著手す可く又た野口技師以下技手、書記等も既に其れ〳〵任命を見たれば建築完成次第蒙古種馬(牝)及び內地產各種馬(牡)數十頭を購入經營に著手す可く開場期は遲くとも本年十月を越ゆざるべしと

李王家の賻儀金

朴子爵薨去に對する賻儀金として李王殿下より一千圓李太王殿下七百圓李王世子殿下より一百圓を下賜相成りたり

ル總督の來鮮

二十八日朝入京

印度支那總督エー、ルーム氏、同夫人總督官房長カストン、ド、マルシヤル氏、總督府政務局長アルンジユ、バツク、ド、マルスリー氏、同夫人、總督副官陸軍大尉ジユールラングレー氏及び從僕二名の一行は二十三日東京出發京都に赴き、二十六日同地發朝鮮に直行の筈にて二十八日午前八時五十分南大門驛著入京一泊の上、二十九日午前七時十分同驛發鮮滿急行列車に搭乘奉天に直行の豫定なり

慈惠院長會同

總督府にて各道慈惠醫院長を召集し二十六日より二十八日まで三日間道慈惠院長會同を開催に決せり其日程左の如し

▲二十六日　諮問事項▲二十七日　諮問及び院長提出意見▲二十八日　訓示指示事務打合

而して會場は總督府第二會議室にて宇佐美內務部長官會議を統裁す可く時間は每日午前九時より午後四時迄也

定例長官會議

二十三日は定例長官會議當日なるより寺內總督、山縣政務總監以下各部長官、局長は午前十時より總督府第一會議室に參集通常政務に就き協議打合せの上正午散會したり

會計主任會議

會計主任會議第四日は二十三日午前九時より總督府第二會議室に開催、兒玉總務局長統裁の下に直ちに日程に入り指示、注意、事務打合等ありて午後三時散會せり

府郡主任書記會議

京畿　道各府郡主任書記會議は二十六日より六日間道廳に於て開催し第一日より三日間は諮問を行ふ由にて第四日は意見提出五日指示、訓示打合とし最終日は各自一般事務の打合を爲す可しと

鮮銀哈市支店

阿部鮮銀副司事談　朝鮮銀行にて今回哈爾賓に支店を新設する事となり開業と同時に同支店長に任せらるべき副司事阿部讓氏は本月上旬より同地に出張一兩日前歸京せしが其談によれば鮮銀の哈市營業所は埠頭區ウチヤウスト、コーリ街に定めたるが場所は停車場より支那町傅家甸に至る途中にて日本人商業區域の中心に位し正金銀行及び三井物產支店の間にあり又開店に就き日本總領事館並に露國官憲等に對する交渉は全部終了したるに付き後登記等の手續きをなし多分七月十五日頃より開業の運びに至るべし業務は目下の所鮮銀券と正金券等の流通なき爲め先づ留對務側等の爲替の資並に特產物に對する貸出等を行ひ追々業務を擴張し往くべし尙ほ最近哈爾賓の財界は夏期の市況閑散時に入れる爲め一般取引等は極めて沈靜し居れど軍需品は大口の取引頻々行はれ居る模樣なりと云々因に阿部氏は二十三日夜當任地安東に向ひ月末家族を引纏め哈爾賓に赴くべく行員も全部同氏と相前後して赴任す

新校舍敷地と工事

京城　在住內地人の增加に伴ひ每年の新學期に於て八九百名宛の新就學兒童を生ずる趨勢なるより隔年に一校或は三年に一校の新校舍を建築することとなり居たるが更に來年四月一日より入學す可き兒童の收容に充つ可く校舍新築の案を立て其敷地として官有地の拂下を受けんとし既に其筋に認可の申請中なるが同敷地は二三候補地を物色の結果大略訓練院に設置することに決定したり然るに此事民間の知る所となり南大門外の有志は靑葉町或は同峴里方面に校舍を設けしめんとの希望を有する者出で當局者に運動を試みたる模樣なれども現在七小學校の通學區域の關係上當然訓練院に決定するに至る可し、尙ほ新校舍の建築は敷地の認可あり次第實地測量を爲し建築に著手し本年結氷期迄に落成せしめ來年の新入學生を收容するものなりと

京畿春繭初取引

京畿道　龍仁郡にては來る二十五日金良場なる郡廳內に於て春繭約百石の共同販賣を行ふ可しと右は京畿道が來る七月一日より各府郡一齊に行ふ共同販賣以外に於て特別に行ふものにして共同販賣に依る京畿春繭の走繭也

府稅督促狀發送

京城府　本年度市街地稅第一期分に對する滯納者に對しては二十二日府より督促狀を發したるが尙ほ家屋稅第一期分に對しても近々督促狀を發す可しと

本田博士渡米期

米國出張を命ぜられたる本田農學博士は二十六日東上廿九日橫濱出帆の事となれり

人見課長東上

歐洲出張を命ぜられたる農務課長人見次郎氏は廿四日朝京城驛發列車にて東上し十六七日頃一旦歸任の上矢野稅關長同道にて廿日渡歐の途に就く可しと

原田朝郵社長歸京

東上中なりし原田朝郵社長は途中大阪にて所用を遂げ居たるが二十三日午後九時南大門著歸任すべしと

工事入札

京釜線沃川大田間改良工事入札は八十九萬五千圓にて白川高太郎氏に、淸津停車場構內官舍其他の新築工事は三萬九千六百三十圓にて志岐信太郎氏に落札せり

●取消　廿三日發刊(金剛山ホテル發營電報)なる記事は事實相違に付全文取消すことゝせり

仁川

▲神社費豫算　仁川神社費大正五年度歲入出豫算は去る三日崇敬者總代會に於て大體議定したるが去る二十二日總代幹事會に於て歲入出各二千九百七十六圓五十錢に更正決定したり今之れが內容を見るに歲入に於ては地料及び府補助金を差引たる氏子よりの徵收總額は二千一圓四十一錢にして歲出に於ては集金專任者手當獎及び公園手入費等其重なるものなり▲神社費の負擔割　仁川神社費大正五年度氏子醵出金割當步合は總代幹事會に於て府稅特別戶稅を參酌し府稅一等より五等迄年額に於て各等八十錢の差を附し又六等より十等迄同六十錢の差十一等より十五等迄同四十錢の差十六等より二十等迄同二十錢の差を以て最高十圓二十錢より最低四十錢を年四期に醵出する事に決定せり

開城

▲春蠶狀況　開城地方に於ける春蠶は一般に成績良好ならず開城恩賜授產場跡を借受け鮮人數名の共同にて經營したる分も水原種は成績良好なりしも京城種は不成績なりしと▲町長選擧紛紜　從來面の下にありし里を廢して町を設けられたる結果當然里長は廢職となり其代りとして町長を置く事となり開城にても大和町は內地人多數なる故內地人を町長とする事となり過日學校組合事務所に於て其選擧を行ひ安見氏當選したるが選擧方法に對し其筋に抗議書を提出せる者ありて紛紜を生じ居れり▲猛獸現はる　三四日前市外德岩里附近に猛獸現はれ一頭の小牛を咬殺したるより牛の飼主は其喰殘りの股頭等を地中に埋め置きたるに其夜又復出現して之を掘り出し喰盡したるが其足跡より見れば虎らしとて附近は人心恟々たり▲白菜種減收　當地の名產白菜の種子は採收期近きたるが本春其採種根過半腐敗したる爲多大の減收なるべし

鳥致院

▲新設市場設計　過般より市中の一大問題として市設の移轉を一日千秋の思ひにて待ちたりし新設市場の設計圖は頃日出來上り古市協議會長より協議會事務所へ廻送せりと▲稻苗の被害　先日の洪水にて稻苗代に著るしく泥砂積堆しさなきだに軟弱に育ちたる苗代は著るしく徒長し折角挿秧するも成育の見込なき爲め應急策として其筋より稻籾の直播を獎勵し居れり▲蠶繭好況　春蠶飼育中の天氣は佳良なりし加之桑葉の發育良好なるため成繭一般に佳良にして生繭買にても上等六十七八圓乃至七十二三圓下繭すら三十二三圓にて取引せられ一般飼育者は蠶の當り年とてほく〳〵の體なり▲元老西頭氏歿す　鳥致院の草分け元京城日報支局長西頭謙吉氏は去る十九日急性肺炎にて永眠せるが君は永年日本人會長及び學校組合管理者たり又鳥致院神社の建設發起者として公共に盡したる事績頗る多し二十日埋葬式を擧行し小學生徒及び官民有志數百名の會葬あり最と莊嚴なりし

大田

▲桃走り値　大田各果樹園に於ける桃は漸く成熟の期に達したるが未だ市場に現はるゝに至らず只兩三日前八木農園より少量を出したるが貫二圓四五十錢を呼び居れり▲雨量多し　二十一日來より降り出したる雨は其量頗る多く二十二日午後に至り前回出水の最と對比し得る程にて大田川の如き濁流喧々として不安を抱くものもあるも未だ何れも危險を感ずる程の事はなし▲堀井派出員　鐵道局營業汽車課派出員堀井儀作氏二十二日午後六時發列車にて木浦に赴任せり

光州

▲金融理事會議　本道金融組合理事會議は來る七月三日より三日間道に招集會議を開く筈▲全南臨時淸潔法　先般の豪雨に依りて浸水家屋井戶浸水等多數有りたるを以て警務部に於ては各警察署憲兵隊に向け大淸潔法施行方を命じたり▲地主會開會　全南地主會は廿五日午前八時より同一日開會の筈にて出席者は各郡代議員四十四名に光州名譽會員廿二名の豫定なり▲前田法院長出張　前田光州地方法院長は廿三日木浦出張の上中山大邱覆審法院長と共に濟州島に赴く▲南院長入京　氏家光州慈惠醫院院長及び蟾川濟州慈惠醫院院長は廿一日出發何れも會議列席の爲め上京したり

大邱

▲服部警務部長招宴　服部慶北警務部長は今回管內憲兵分隊長同分遣所長並に警察署長會議を機とし以上隊、所、署長各官憲重立者及び各新聞記者を招し廿三日午後七時より大和に於て晩餐會を開けり▲東亞販賣部長招宴　馬詰東亞煙草會社總販賣部長は狀況視察の爲め來邱し廿二日午後七時より各新聞記者及び有志を大和に招し小宴を張れり▲商業會議所選擧規則認可の指令に接したる大邱商業會議所は愈々來る廿八日午前九時より午後四時に至る間上町元大邱商業會議所跡に於て評議員選擧を執行する事に確定せり選擧すべき評議員數は內地人十六人、鮮人四人なり

平壤

▲明治神宮奉贊會　平安南道に於ける明治神宮奉贊會獻金豫算額は八千圓なるが各委員の努力と道民の至誠とにより一萬圓以上に上るべき見込にて目下道委員に於て各府郡より到著順に調査中なるが多分今明日中には全部の調査を終了すべく今其調査濟の分を上ぐれば平壤府は豫額千二百圓に對し一千六百十二圓三十錢鎭南浦豫額千百圓に對し三千八十八圓大同郡六百圓に對し九百五十八圓三十錢成川郡四百圓に對し四百五十五圓江東郡三百圓に對し四百十一圓二十錢江西郡五百圓に對し五百七十圓三十錢平原郡六百圓に對し八百九十圓久原郡千百圓等にして其內主なる獻金者の氏名を擧ぐれば平壤大橋恒藏百圓同本田常吉九十五圓鎭南浦中村精七郎千圓同齋藤支店三百圓同西崎鶴太郎二百圓同富田儀作二百圓同久原精練所二百圓姜俊植二百圓等なり▲學務局長　關屋學務局長は學務視察の爲め六月廿五日來壤二日滯在平壤の視察を遂げ廿七日鎭南浦視察の上黃海道海州に向ふべしと▲慈惠院長出張　內村平壤慈惠院々長は院長會議出席の爲め藥劑手一名を隨へ二十三日午前一時發列車にて出京したり

釜山支局より

二十二日　一記者

▲釜山商業會議所評議員選擧は愈々今廿二日を以て行はれたり而して其の結果を見るに當選者の多くは新顏にして前議員の案外少なきは吾人の聊か意外とする所也。是れ前議員に比較するに其の多くは新進氣鋭の士にして前者に優るとも劣らざるは商業會議所の爲めにも釜山府民の爲めにも大に慶せざる可からず。殊に吾人の衷心より悅ばざる可らざるは今回の選擧に際し棄權者の案外少かりしこと也。▲前回の選擧には棄權者頗る多く、年數選に對し約三四割の棄權者を見るに至りたるが、今回の選擧には有權者五百十六票に對し、約一割即ち六十一名の棄權者を生じたる次第にして、是を前回に比すれば著しく其の數を減じたり是れ云ふ迄もなく各有權者が漸次其の選擧權の重んずべきを自覺したる結果にして、誠に慶ばしきことゝ云はざる可からず。▲上田節殿君の第一位にて當選せしは何人も意外とする所なるも、更に吾人の意外に堪へざるは、迫間房太郎君の第十九位にて當選せしこと也。更に意外に思ひたるは岡田惟平衞君の僅か一點にて落選せしこと也。想ふに迫間君の第十九位に下りしは、餘りに油斷したる爲めなるべく、岡田君の僅かに一點を贏ち得ざりしは、中途以前に斷念したる爲めならん。皆に恐るべき者は油斷也。▲役員選擧の結果何人が會頭に當選すべきやは

人事消息

▲大園俊道氏(慶南警察部長)　二十三日夜入京の豫定
▲河本新登氏(慶山地方法院長)　二十三日朝入京浦尾へ
▲有馬長次郎氏(慶州府院長)　同上
▲內村安太郎氏(平壤府院長)　同上
▲大河內醇氏(同慶官)　同上
▲藤本正氏(大邱慈惠醫院長)　二十三日夜入京浦尾に投宿の豫定
▲飯島五百三氏(海州府院長)　二十二日夜入京山本旅館へ
▲氏家豪尚氏(光州府院長)　同上
▲齋藤俊三郎氏(全州府院長)　同上
▲甲斐四郎氏(晋州府院長)　二十三日朝入京山本旅館へ
▲松田國防氏(三井鑛山員)　入京中の處二十三日朝元山へ
▲飯島絹介氏(工學士)　二十三日夜入京天眞樓へ投宿の豫定
▲尾語次男氏(東亞煙草總販賣所長)　東上中の處二十三日朝歸任
▲キンビー氏▲シヤンドル氏▲ボーブル氏(以上米人)　二十二日夜入京朝鮮ホテルへ
▲山形大佐　二十三日夜九時歸任の筈
▲阿部讓氏(鮮銀副司事)　二十三日夜赴任地安東へ月末頃哈市に赴く
▲阿部秀太郎氏(鮮銀平壤支店長)　滿洲方面視察中の所二十三日歸壤
▲川上淨介氏(平壤會議所創立籌備者)　入京中の所二十三日夜北行歸任
▲八島明氏(土木局技師)　道路國際の爲め二十三日平南咸北に出張
▲須藤信治氏(濟生院主事)　內務省主催の感化救濟事業講習會へ出席の爲め七月三日名古屋市へ出張
▲伊藤眞三郎氏(學務局長)　貴族、平南管內へ二十四日出發に決す
▲疋田芝藏氏(土木局技師)　渡船鐵橋工事檢査の爲め七月一日より慶尚道へ出張
▲白井本城氏(開城郵便局長)　二十三日所用にて入京即日退京
▲丹羽淸次郎氏(靑年會幹事)　廿二日夜釜山へ

寄某雜誌徵余履歷　大痴道人

這回忘却往時途、欲說故吾一事無、劍去刀舟復休笑、世情同是守孤株。

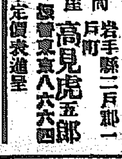
廣告

清浦子爵證明　佛國發明協會名譽會員　藤木先生發明
御紳士用特許防水衣(特許防水衣)
特許防水衣は布居の色、艶を損せず表裏兩布の間にゴムを密著し防水力確實ベタツカズ「コワバラ」ズ裁宜く縫目にはゴム布を貼りマント、とんび、けつ一著三四圓よりインバネス、外套各種一着十七圓迄
●見本及定價表無料送呈
京都府上賀茂　星川發明部　振替大阪二七八九

岡田信利出發の際は態々御見送を忝ふせし諸彥に對し一々拜趨御禮申上ぐ可き筈の處作略儀以紙上謝意を表し申候　敬白
六月二十三日　岡田きよ

パナマ　七拾錢　各種一個送料實費
半打以上は割引定價表送附
東京神田和泉町一　茂木製帽合名會社

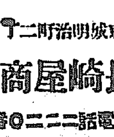
華道家元　池坊大會
例年の通り社中大會本月廿四五兩日京城南山本願寺に於て開會す縱覽御隨意の事
各位　後藤秀菴　社中



南部鐵瓶
岩手縣二戶郡一戶町　問屋　高見虎五郎　振替東京八六六四
御照會次第見本定價表進呈

尾張大根種　小おろし　小賣
魯桑種子　其他秋蒔種子一切
尾張名古屋主税町　株式會社　農產館
御申越次第目錄雜誌無代進呈

胃病新藥　マーゲン
約特店　京城南大門通二　新井藥房
大阪土佐堀本町五　田畑保製藥所



寫眞機　寫眞材料
京城明治町二丁目　長崎屋商店　電話二二〇番

梅雨の夕……景福宮翠香亭……

●改造された伊太利内閣
最近の敗戰が原因となつた＝親英派と親獨派＝外交關係には變化あるまい＝小松翰長談

ボセリ氏の伊太利新内閣が組織せられた、外相ソンニーノ氏の留任を除く以外は皆新顔の大臣ばかりでしかも其れ等の人々は新進の人物で從來餘り世間に多く知られて居らなかつたサランドラ前内閣の瓦解した原因の内には樣々の事情が含まつて居るであらうしかし其の

▽重なる原因△と見るべきものは勿論墺國に對する戰鬪行爲の結果が内閣不信任を買ふたのに相違ない元來伊太利は國際上非常に困難なる立場に在つて遠い以前から親獨派と親英派とが有つた今度開戰する迄にも隨分兩派の間に樣々な葛藤紛諍が有つたが前首相サランドラ氏は

▽親英主義の人△で有ると共に國民は墺太利に對してボヘミヤヘルツエゴビナ二州を奪はれた舊怨の有る處からして協商側に與みし墺國を膺懲し此の二州を奪還しようと云ふのが開戰の目的であつた故に伊太利は墺國に對して宣戰して居るが獨逸に對しては

▽宣戰の布告△をして居らぬ、之れ獨逸に對しては直接其の境を接して居らぬ事と戰勝の後と雖も伊太利は獨逸より獲得する何者もないからである開戰以後に於ける伊太利は餘り目覺ましい戰を爲て居らないけれど而し伊太利としては全力を傾注して居る事は明瞭である本年三月下旬

▽現在の統計△に由れば伊太利は六十萬の兵を國境に出し開戰以來十七萬の丁兵を亡うて居る、而して軍費は一日約一千五百萬圓一年五十四億五千萬圓の割合に成つて居るから戰爭に對する覺悟は頗る眞面目であらなければならず又實際眞面目であるが

▽戰鬪の結果△は頗る思はしく無く近くトレンチノーの戰で見苦しい敗北を取つた、戰時の政府は勝てば非常に國民の信望を集めるが敗戰すると其の原因は何に有つても多くの場合政府は國民の批難を第一に受けなければならぬサランドラ

▽内閣の瓦解△は開戰以來の成績の思はしくなかつたのと近くトレンチノーに於ける敗戰等に因り不信任の決議を爲られたものと思はれる、親英派のサランドラ内閣が倒れ之に新らしい内閣が代つて組織せられたから或は外交關係が一變するであらうと觀測する者もあるが依然

▽外相の留任△して居る處を見ると外交方針は開戰當時と差して異る處なかるべく矢張り協商側と共に從來の如く戰鬪を繼續する事は元より猶一層激烈に最善を盡して戰鬪に從事するに至るであらうと觀測せられる

◇東宮殿下丹後行啓
行啓期は七月中旬ならん

東宮殿下には兩三年前より毎年夏期の休暇を御利用遊ばされ見學のため諸地方に御旅行あらせらるゝが今年は京都を經て丹後地方に成らせられ舞鶴鎮守府に御滯在天の橋立御遊覽の御事に御内定相成る由行啓期は七月中旬ならんと（大阪）

●本年徵兵檢査
前年より花柳病が多い

本年度の徵兵身體檢査は例年の通り各地とも四月上旬に執行されたが今年は從來の檢査場以外新に江界と惠山鎮に增設したので檢査場數は合計十一箇處となつた却說今年の徵兵

▽出願許可 人員は一年志願六週間現役、現役志願等一切を合して二千二百七十八名であつたが其内檢査を實施したのは二千二百八名で之を四年度に比べると出願の許可人員も檢査の實施人員も共に四十七名を減じてゐる、幷して檢査の結果は甲種九百五十七人、第一種乙種が二百四十五人、第二乙種が二百五十九人、丙種五百二十六人、丁種七十三人、戊種十七人で前年に比べると甲種は百十三人、第一乙種は百十八人減て第二乙種と丙種とが大分增し丁も戊も一人づゝ減つてゐる、又た

▽學力の程度を較べると大學卒業若しくは之れと同等の者が三十三名、中學校卒業者が百六十六名で何れも去年よりは多少增してゐるが中學卒業同等者と、尋常小學卒業者は共に大に減つて多少算數の道を心得てゐるに過ぎぬものが激增してゐる、之れで見ると體格も學力も總じて前年に及ばぬのは殘念だが身長は平均して稍々優つてゐるさうである、其からトラホーム患者は二百四十二名で前年に比べると五十四名の減少だけれども恐しい花柳病は前年よりも二十五名を增して八十八名となつてゐる、之れは最も注意す可きことである

●二重の詐欺
兵庫縣飾磨郡……へたる後代金を支拂ふべしとて若狹……百五十七圓餘を騙取せし事露顯し二……取り外し屋内に忍入り内庭にありたる者を召集し……嚴重なる訓戒を與へ……

實話 母子の邂逅（三）
……お母の約束の四年目は何の便りもなく暮れた……

北邙山の麓に辿り著いた時、元瑞の脚は棒の如うになつた、そのうへ昨日おツ母アの見れなくなつてから心配で御飯もろく／＼喰べないので疲れは殊に甚だしかつた。

麓から山の上まで團子を積ねた如うに無數の墓が累々と押し並んで夏草が一杯に繁つて居る其の中から父の墓はすぐに目に付いた、それはまだ土が新らしくて草が生ゐて居らぬのと其の傍に枯れかゝつた大きな松が有つたからだ。

元瑞は墓場まで來ると今迄歩いて居つた力が急に拔けてガッカリと其の上に斃れて終つた、彼は急に泣き出す事も出來なかつた、墓場の周圍には人の氣配もなく、たゞ叢の中で暑苦しくギッチョン／＼と折々虫が啼くばかりであつた。

元瑞は仔細に墓や松の木を廻つて見た、墓には新らしい野花が手向けられて有つた、彼は急いで近所の小高い場處に登つて見れる限り遠く／＼まで見巡したが牛を牽ゐて行く他所のおぢさんより外には誰も眼にはいらなかつた、彼の目からは自然に熱い涙がぼろ／＼と湧き出した、果ては大きな聲を揚げて泣いた、泣いては『おツ母ア』と呼び叫んでは又泣いて居た。

誰一人、なぐさめてくれる人もない墓場で散々泣いた元瑞はとう／＼泣き疲れて草の上に眠つて終つた、睡りから覺めた時はもう日は西の方の空に傾きかけて居つた。元瑞はモウ耐へ切れないほどの空腹を感じて來た、さうして彼は獨りぼつちで墓場に居る寂しさと恐ろしさとを感じて大急ぎに墓場を逃げ出した。

伯母さんの家へ歸つて來たのは夕飯頃であつた、伯母さんは無斷で元瑞が家を出たのを大變に叱つた、伯父さんは又酒を呑みながらそれを口汚なく罵つた。元瑞は殴り付けられた小犬の如うにオド／＼しながら溫突の片隅に丸まつて寢た。

樂しくない月日も思つたより早く過ぎた、元瑞が母に別れてからもう四年すぎで彼は十歲になつた。元瑞の母が伯母に約束して置いた年だ元瑞を迎へに來る年になつたのだ、今日はおツ母アが來るか明日は來るかと元瑞は待焦れて居つた。しかし母からは何んの便りもなしに其の年もくれた。

●甥を殺んとす
京城黃金町三丁目に雜貨商を營業し居れる伊佐山政之助（三九）は去十四日夕刻同居の甥伊佐山酉之助（二九）を市外高陽郡龍江面東幕里の北方松林中に伴ひ行き人通りなきを見澄し隱し持ちたる棍棒を以て不意に酉之助の後頭部及び顎部を强打して人事不省に陷らしめ其場を逃走したり然るに酉之助は其後蘇生して通行人に助けられ龍山鐵道醫院に於て加療中なるが目下の所多分生命に別條なかるべしと此の兇行の原因に就ては知る由なきも何分叔父甥の間柄なれば何か深き事情の伏在し居るものゝ如く政之助は目下其筋の手に逮捕され嚴重取調中なり尙ほ噂に依れば政之助は兇行の前日酉之助の名義にて一千五百圓の保險契約を締結し其の第一回拂込金を爲したる形跡ありと

●刑事に化て騙る
京城三阪通林相鎮（二七）龍山靑葉町朴時運（二八）鳳翼洞吳東永（二五）平壤生れ太平町二丁目李基浩（二六）太平通二丁目居金永贊（二）の五名は何れも强竊盜前科一犯乃至數犯の曲者なるが無賴にて京城各町を徘徊し林相鎮主魁となりて刑事巡査に變裝し五月二十七日以降六月十日頃迄に或は二名同行し又は單獨にて地方より上京中なる鮮人を捕へ窃盜嫌疑者なる故身體檢査を行ふと稱し前後十四回に十數名より約五十圓の金員を捲き揚げ娼家にて豪遊中本町署に取押へらる

●意恨晴しの放火
京畿道開城郡松都面元町金鳳吉（三十）は同町金明重と怨恨の間柄にて豫てより出入し居れる間同人は常に明重が他に出稼して不在なるに乘じ明重の妻崔氏を口說き落さんとせしを遂に明重より看破せられ手酷しく叱責されて出入を禁止されたるより之れを怨み昨年舊十二月二十日夜同家に放火して遂に全燒せしめ尙其後同家に忍び入りて窃盜を働きたる事發覺し此程京城地方法院に於て懲役六年の處分となれり

●洛東江の增水
奧地との交通杜絕す

各地出水の爲め被害甚だしく洛東江は增水二十五尺に及び尙州北川は八尺、尙州、金泉、大邱、浦項、安東、永陽、靑松其他各地の交通全く杜絕し星州邑内の如きは浸水五尺に達したる爲め邑民の大部分は普通學校に避難せり甘川破堤の恐あるを以て防禦工事に努め居れるが今猶刻々增水しつゝあり（大邱特電）

●全北又復出水
二十三日午前十時全北臨益水利組合理事より總督府に發せる電報に依れば全北地方にては二十一日夜より降雨あり二十三日午前九時までの雨量百七十耗を算し、又復出水、組合區域内八分通り二千町步は收穫の見込なし、而かも雨尙ほ歇まずと同道に於ては此他多數の水利組合あれば此等の被害も亦鮮からざる可く一般畓田の水害激甚なるもの、如し

●湖南線の故障
全南四街里新興間

湖南線四街里新興間假橋及び橋臺流失し廿二日木浦行終列車は四街里に停車の止むなきに至りたるも木浦發松汀里行終列車は特に現場迄進め旅客は不通區域を徒步聯絡せしめ列車は木浦に引返したり引續き復舊工事進捗せし爲め廿三日朝より復舊列車運轉せり（木浦特電）

金剛山寫生畫展覽會
東都畫界の泰斗平福百穗氏の金剛山寫生畫展覽會は愈々▲二十四日（土曜日）二十五日（日曜日）の兩日京城ホテルにて午前九時より午後六時迄開會▲當日は尙ほ同氏得意の風俗花鳥畫十數枚も同時に陳列し▲尙ほ東京諸名家の丹靑になりし數十幅の書畫並に扇面をも陳列し▲甲乙丙の三種に頒ち均一價格を以て即席抽籤にて分配す▲參觀隨意＝京城日報、每日申報社主催▲見よ其の雄渾精緻なる墨跡を

百穗畫伯執筆の名畫

●鑛毒十里に涉る
住友鑛山部四阪島製銅所の鑛毒は其の被害十里に涉り今回一時に九名の卒倒者を生ぜる爲め二十三日松山市に於て住友側及び被害者側の委員會見し善後策を講ずる由（大阪特電）

●蓙叺百萬枚の注文
英國より塹壕用蓙叺一百萬枚の注文あり目下兵庫縣加西郡富田村にて製作中なり（大阪特電）

●滿洲守備交代兵
滿洲守備交代兵を載せたる西京丸は二十三日朝門司に入港せるが當地にて九州四國中國の兵士更に乘船同日午後大連に向ふ（門司特電）

●面役所の全燒
江原道伊川郡山内面々役所より廿二日午後出火して全燒したり原因損害目下取調中

角力雜記帳（川）

▽幕内人氣力士の相撲振り（上）
大錦 對馬洋 綾川

今度來た出羽海一門及び井筒部屋の人氣力士の中から數人を拔いて來て其の出世のあとをたずねその相撲振りを記して好角家の參考に資したいと思ふ相撲振りに就いては協會の年寄連中の話に據つた所が多い大錦は目下の身長五尺八寸體量三十五貫で引締つた身體に益々肉が附いて立派な大關になつた、彼の相撲振りを見るに師匠常陸山に酷似してゐて

▽出足の早い事は驚くべきばかりで押しもすれば四ツ身もよく、左を差せば吊りもあり、寄り、投げ何んでも自在である、一時非力と言はれ、前に弱いといふ非難があつたが天性の稽古熱心がその缺點を補つて近來相撲振りも圓熟して來た出身は大阪で南區鍛冶町細川松次郎の長男卯一郎（二七）と言ひ中學在學當時最初軍人を志願したが方針を變へて力士を志し常陸山の門に入つて三十三年一月場所から前相撲を取り幕下三段目までの七回の

▽登場中 二回は全勝し五回は唯の一回宛負けた限りで大正二年幕下に進み翌三年春場所には十兩に入りその五月場所に全勝してトン／＼拍子に出世し四年一月入幕の榮譽を博しその夏場所には小結に据はり本年の春場所には大關となり更に夏場所西の海のあとを襲うて正大關に据はつた元氣力士である、今年は實父の松次郎氏を滿鮮見物旁々連れて來てゐるが肝腎の大錦が下へも置ず大切にするので外の力士連中からも立てられてゐる、息子が

▽鬼でも 一喝しさうな不敵な面魂をしてゐるに似ず小造な溫順しい、お爺さんであるのも面白い、對馬洋は今度の一行で大飯喰の出羽ヶ嶽と共に一番背高で出身は對馬國下縣郡桑村の農家に生れ本名は川上彌吉（三〇）身長六尺三寸八分二十八貫の大兵である、前身は小倉師團の步兵、力士になつたのは明治四十二年大正三年春場所に入幕し一度落ちたが又盛返して本年春場所に關脇に据はり同場所三點の勝越して現位に留まつて居る相撲振りは上背が充分であり然かも體に柔味がある所に價値があつて突張もあるし四ツになれば上手投もある

▽小手投 も利くし吊りに至つては言ふまでもない、綾川は身長五尺八寸體量二十九貫、圓滿に發達した姿體美は立派な大力士で性質そのまゝの堂々たる大關相撲を取る得意は右四ツ吊出し、近頃首投げで横綱鳳を二回仕止めた豪膽家だ學生相撲のオン大で現に明治大學相撲部師範である、鄕里は靑森縣南津輕郡六鄕村上十川村入幕は大正三年一月昨年春場所勝星三點を殘し其の六月には太刀山力に廻つて小結の榮譽を博し本年春場所には張出關脇に進んだのである

光二郎、金津元之助、後藤浦…、久保貫造、國分…… 渡辺… 上田猪一郎、石村孝一 （三…）…五名

全羅北道▲進行方向▲不明▲……全羅南道……進行因……南北……

天氣 曇但少雨

〇日出 午前五時…分 〇日入 午後七時五十…分

公告
左ノ不動産ヲ左ノ日時ニ競賣ニ附ス
入札保證金ハ申出額ノ十分ノ一トス

京城地方法院

●京城府孝子洞九拾番地ノ壹
一、垈參百貳拾參坪
最低競賣價額金八百〇七圓也
右地上ニ建設
一、木造瓦葺平家建本家壹棟
此建坪拾坪壹合貳勺
附屬木造草葺平家建壹棟
此建坪貳坪參合四勺
最低競賣價額金五拾六圓也
右競賣申立人 孫孝順
不動産所有者 玄濟和

●高陽郡纛島面纛島二契炭洞六統四戶
一、宅地參百拾五坪壹合四勺五才
最低競賣價額金參百拾五圓也
右地上ニ建設
一、木造瓦葺平家建壹棟
建坪四拾七坪四合五勺
附屬木造瓦葺平家建壹棟
建坪九坪五合貳勺
一、木造草葺平家建壹棟
建設參坪九合貳勺
最低競賣價額金四百參拾五圓也
右競賣申立人 李憲榮
不動産所有者 辛左璇

●抱川郡加山面書院里書院坪絲字壹六
一、田六反貳畝四步四合五勺
最低競賣價額金五拾圓也
一、同上絲字壹六
一、畓九畝九步壹合
最低競賣價額金貳拾五圓也
一、同上馬山里馬山坪量字壹貳
一、田四畝參步九合五才
最低競賣價額金參圓也
一、同上量字壹貳
一、畓參反七畝拾七步六合九勺
最低競賣價額金九拾四圓也
一、同上新村里沈坪闕字貳七
一、田四反貳畝拾步七合
最低競賣價額金參拾四圓也
一、同上書院里惡字貳四
一、田貳反五畝五步六合八勺
最低競賣價額金貳拾圓也
一、同上書院坪染字參七
一、田壹反七畝壹步五合六勺
最低競賣價額金拾九圓也
一、同上染字參貳
一、畓壹反七畝六步貳合六勺
最低競賣價額金四拾參圓也
右競賣申立人 徐延玉
不動産所有者 李範禹

●始興郡北面永登浦七拾番地
右地上ニ建設
一、木造草葺平家建本家壹棟
此建坪拾坪
附屬木造草葺平家納屋壹棟
此建坪壹坪
最低競賣價額金參拾參圓也
右競賣申立人 延敬友
不動産所有者 高聖大

●京城府桂洞百七番地
一、垈四拾四坪
最低競賣價額金貳百貳拾圓也
右地上ニ建設
一、木造瓦葺平家建本家壹棟
此建坪貳拾參坪壹合參勺
最低競賣價額金百參拾八圓也
右競賣申立人 李圭鎮
不動産所有者 白仁煥

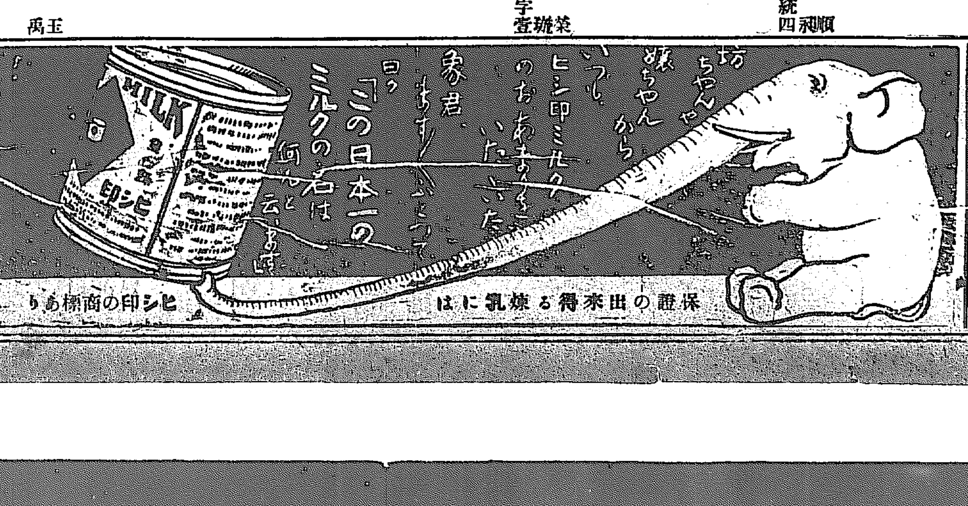
●京城府社稷洞參百參拾四番地
一、垈四百七拾坪
最低競賣價額金百四拾壹圓也
右競賣申立人 高橋千代吉
不動産所有者 西山吉兵衞

●京城府御成町壹番地
一、垈拾六坪
最低競賣價額金百拾貳圓也
右地上ニ建設
一、木造草葺平家建本家壹棟
此建坪九坪六合八勺
最低競賣價額金參拾圓也
右競賣申立人 千洪津
不動産所有者 丁愛

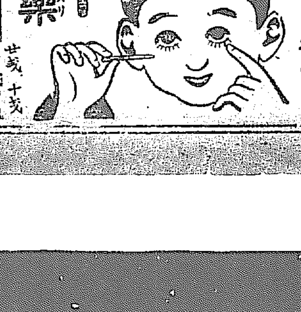
●京城府需昌洞五拾六番地
一、垈貳拾坪
最低競賣價額金六拾六圓也
右地上ニ建設
一、木造瓦葺平家建本家壹棟
此建坪九坪七合參勺
最低競賣價額金五拾圓也
右競賣申立人 李貞夏
不動産所有者 金相哲

以上競賣期日ハ大正五年七月拾貳日午前拾時トス

金川地方金融組合ノ登記事項中左ノ通リ變更ス
組合長金川郡金郊面梧泉洞貳拾六統貳戶金禹碩ハ任期滿了ノ處改選ノ結果大正五年六月拾四日重任ス
右大正五年六月拾九日登記
海州地方法院瑞興支廳



山縣五十雄 村上唯吉共著
▲富の道しるべ 價十五錢 郵稅二錢
京城太平通 振替三〇〇番 京城日報社代理部

目ニ見ヘテ ズンズントキク
シユマズ イタマヌ
井上博士ノ
ロート目藥

廿錢 十錢

登錄商標
飄水味淋
堺 鳥井醸
專賣店 京城本町二丁目 前田酒店

●軍需品で賑はふ 浦鹽の此頃

□米國製品が多數□

□浦鹽のこの頃は軍需品の陸あげで非常な好景氣を呈して居ります

□貨物は主に米國製品が多く農具から鐵道材料から雜貨類に至るまで莫大な貨物が取扱はれて居ります

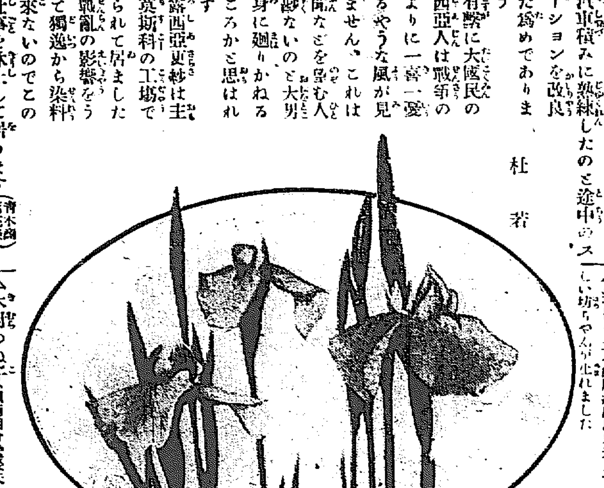
□汽船なども入港してから出帆するまでは殆んど半箇月もかゝるといふ有樣でその積荷の多いとも窺はれる次第ですが日の丸國旗を揭げた船が多いのは愉快に思いました

□また西比利亞鐵道の輸送力も昨今では非常に增加して來ました、これは汽車積みに熟練したのと途中のステーションを改良した爲めでありませう

□有體に大露國民の露西亞人は戰爭のたよりに一喜一憂するやうな風が見えません、これは新聞などを讀む人が尠ないのと大男總身に廻りかねるところかと思はれます

□露西亞更紗は主に莫斯科の工場で織られて居ましたが戰亂の影響をうけて獨逸から染料が來ないのでこの頃仕事を休止して居ります(居主談)

杜若



婦人界消息

△會員の御服裝はなるべく質素にしてふだん着のまゝお出かけ願ふと同時に當日は多數混雜するといけませんから嬰兒をお伴れのことは見合せられたしとの事にて雨天にても催されます

◎幼稚園記念會 釜山私立幼稚園にては去る三月中から遊技室の增築中でありましたが今回愈々落成致しましたので來る廿五日の地久節を期して午前九時より記念會を開き園兒の唱歌遊技等がある筈であります

◎成田校長消息 內地北陸方面の教育視察に赴かれた成田高等女學校長は本月の末頃歸京されます

△山形八重子(山形大佐夫人) 廿三日夜東京から歸られました

△佛領印度支那總督夫人、同總督府政務局長夫人 一所に來朝中でありますが二十八日に京城にあられます

△進はな子(總督府遞信局長氏夫人) 廿日可愛らしい坊ちやんが生れました

●地久節家族會

一時半より壽座にて

△愛國婦人會の家族會は二十五日の地久節午後一時三十分から壽座にて開催

△一般會員御婦人に限るの御家族女中さん方と共に一同打ちそろつて佳節をお祝ひすることとなりました

△此の日は李王職雅樂隊の奏樂(隊員分列行進)さて面白い餘興を始めいろ〳〵な催ふしがございます

△先づ箏曲には夏の曲あり三味線と箏の合奏には根びきの松あり舞踊ひろひの他に小女舞三人舞踊もあります

神社と教會とお寺

△木村つね子(龍南浦分監長夫人) 二十一日逝去、葬儀は二十三日

□曹洞宗別院(若草町) 廿四日午後八時半より地藏尊の縁日讀經あり

□妙心寺(長沙洞) 廿四日午後一時より地藏尊の讀經あり

□本願寺(南山) 廿四日午後八時より土曜講話あり

□全州西本願寺 全羅北道全州西本願寺にては松原布教使を迎へて二十五日六日の兩日說教會を催ふします

―△會いろ〳〵▽―

□國柱會(初音町) 二十五日午後八時より本町二丁目不二屋支店にて伊東顧問外數氏の日蓮主義講話あり

○基督教靑年會 廿四日午後六時より貞洞元ソンタクホテル內にて英語クラブ開催中央靑年會のルーカス氏及び儆新學校のクーン氏を始め內地人側よりも數十名の來賓ある筈因に隨來は每週一回金曜日に開催する由

○全州公立普通學校 全羅北道全州公立第一普通學校にては地久節の佳節に母姉會を催ふします

○語學校校友會 東京外國語學校の校友會は二十二日夜サクラバーにて開催、國分象太郞氏を始め黑田勢知彥氏等約三十餘名の出席者ありて非常なる盛會なりき

○朝鮮醫學會 二十四日二十五日の兩日午前九時より

○觀世會京城支部 廿五日午後八時より本町有明樓にて開催宇敷仙葉師囃子(新太鼓)一調(八島)あり尙ほ飛入り歡迎する由

○仁川琵琶會 京城より筑前琵琶筑紫派の大家荒田鶴風氏を招き廿日仲町靑年會館にて演奏

だいどころ その日〳〵

來る廿五日は地久節に相當いたしますからどこのお家でもお母樣が主になつて御祝があり近しいお友達や親族の方々などもお招きになることと思ひますから左に揭げましたのは地久節御祝ひの略式膳部の御獻立であります

吸物膳

△吸物、海老のつみ入れ、小なすび、蓴菜のこまん〳〵△盃、古酒又は林檎酒△刺身、すゞきの洗ひ、流れ寒天、しその實△口取、日の出蒲鉾、さよりの黃丹やき、しそ卷わさび

副膳

△丼、鯛の鹽蒸、黑いも△酢物、鮎のさゝ作り、淺草のり、たで、防風△猪口、胡麻よごし鳴海、繊和へ

燒物膳

△燒物、鯛のいかだ燒

本膳

△飯、赤飯△汁、鯛鶉づく、わさび梅△香物、きうりの芥子漬、午蒡の味噌漬

菓子

△八千代饅、若松

番茶のあとさき

密陽や元山あたり鮎漁の面白い時季となりました▲鮎は鬪魚の別名がある程な喧嘩好きの魚ですがこれは同じ仲間同志以外のものに限つて爭ふので平素は一群が一定の區域を守つて他の侵略を許さぬのであります▲鮎は石に附著した苔類を喰べて居ります他の魚が來るとあの鋭い體で突進しますから種鮎を用ゐて釣られるのであります

支那一帶三千餘萬の回々教徒

□月明虎と格鬪する苗族の勇者□

□這回山東省の濟南に回々教の禮拜堂を建て、支那の回教徒から崇拜せられつゝある川村乙磨氏といふ豪傑が從來前後八回の四百餘州踏査談を試みました

□支那人の回々教徒は支那の東北天山南北路あたりから湖南、河南方面の西南部に至るまで擴がりその數約三千萬以上に上つて居ます

□回々教徒は酒と煙草を遠ざけ且偶像崇拜を蔑視して居るとは基督新教と同教なのでありますが異教徒に對しては平氣で掠奪侵略を行ひます

□殊に異教徒と戰つて討死すれば子々孫々永久に神の祝福を受けるとが能きると信じて居ります

□彼等は聖地アラビヤのメツカが西方に當るところから平素から西の方位に對しては非常に敬虔な心を有つて居ります

□年に一回斷食する風習も彼等の間に行はれて居ますがそれは十二月の滿一箇月を晝間だけ修行するのであります

□猶ほ教徒の淸潔を尙ぶとは非常なもので家に澤山な手洗水を用意したと夫婦が互に髯を剃り合つて居るとなどは面白いと思ひます

□ついでに支那南方の苗族に就いて詩的な男性的なはなしがあります

□苗族はわが臺灣の生蕃人同樣の者で男子が生るれば父は自ら刀劍を鍛つて與へるといふ風習があります

□殊に苗族の虎狩といふのは單身虎と格鬪して斃すのであつて彼等は月明の夜を待ち只獨り虎の棲む山で明笛を吹ならすのであります

□恁うすると血に渇した猛虎は笛の音律を聽いて漸次圓形を描きながら覗ひ寄り背を低うして飛び蒐るのでありますが彼等は平氣で虎を擊ち倒すのであります

商況

東京株式特電

二十三日 前場寄付 大引

銘柄	寄付	大引
日本郵船	三三三、三〇	三三三、三〇
京城電氣	[illegible]	[illegible]
南滿鐵道	一六八、四〇	一七〇、〇〇
同新株	一四〇、一〇	一四〇、二〇
日本麥酒	[illegible]	[illegible]
東株第一	[illegible]	[illegible]
東株第二	[illegible]	[illegible]
東新第一	[illegible]	[illegible]
東新第二	[illegible]	[illegible]

債券現物特電

(前日との比較) 東京 日川東値段

東洋拓殖 京城電氣 朝鮮銀行 朝鮮殖産 南滿鐵道 [illegible]

公債直取引

二十三日川本値段(前日との比較) 特別

甲號五分利	九五、四〇	[illegible]
一回四分利	八一、一〇	[illegible]
二回四分利	八三、一〇	[illegible]
五分利	九五、三〇	[illegible]

深川在米特電

二十三日現在高

內地米	六七、三二〇
朝鮮米	六五、三〇八
臺灣米	二〇、七三八

東京期米特電

廿三日前場 八月限

寄付	高値	安値	止め
三五、五二	三五、七〇	三五、五二	三五、六七

大阪株式特電

二十三日前場 前日引値 寄付 前場止め

銘柄	前日	寄付	止め
大阪株式	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東京新株	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大阪米穀	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日本郵船	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大阪商船	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東洋紡績	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新株	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘淵紡績	[illegible]	[illegible]	[illegible]
和歌山紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]
神戶瓦斯	[illegible]	[illegible]	[illegible]
宇治川水	[illegible]	[illegible]	[illegible]

大阪三品特電

二十三日前場

	寄付	止め
六月限	一三七、〇〇	一三六、九〇
七月限	一三七、〇〇	一三六、八〇
八月限	一三七、一〇	一三七、二〇
九月限	一三七、二〇	一三七、二〇
十月限	一三七、五〇	一三七、六〇
十一月限	一三八、〇〇	一三八、〇〇

大阪期米特電

二十三日前場

	寄付
當限	三二、三五
中限	三二、六六
先限	三二、三三

下關期米特電

二十三日前場好調嗄退投げさ刺戟あるも値頃買に保合たる

	寄付	高値	安値	止め
當限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
中限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

朝鮮物産特電

馬山改良	二、〇〇	慶山大豆
釜山改良	[illegible]	釜山大豆
仁川改良	[illegible]	浦項改良
南浦改良	[illegible]	長山大豆
釜山上白	[illegible]	群山小豆
釜山中白	[illegible]	宜寧大豆
仁川白上	[illegible]	平壤大豆
仁川白中	[illegible]	鎭南浦大豆
仁川白下	[illegible]	木浦豆上

雜報

●皮革類は悲觀 情報によれば露國政府よりの軍靴注文は未だ發表の運びに至らざるも略成立せし模樣ありといひ夫れと同時に皮革類も又々幾分の騰貴を見るに至らんか併しながら從來の高値には需要減退して頗る沈滯狀態にありし商閑期に向ひ益々悲觀せられ加ふるに不景氣を來すならん過日來唱道せられる露國の小個品の輸出は未だ實際として現はれざるも早晩實現の運びとなるべきも之れに付ては原料品と…

●洋釘低落す 洋釘の如き市情にて愈々一部同業者の間に實を實現せり其內にも荒物は比較的底堅き商狀を呈し下落より持合ひ居れるも小物に至りては

最大二時半の五十錢を最少とし一時の一圓乃至一圓五十錢方の低落を示せり近頃荒物と小物の開き甚しく…して輸出せらるゝを以て大なる打擊なかるべしとの觀測なり

●金物類近狀 金物界の一般に安値なる事は既報の如くなるが最近の大阪入電によれば益々擴大せるは手持ちと需給の關係によるが如く大阪より眼先値崩れ安値を見せ居れば今一押し安値

●浪板 は益々氣配悲觀にして下押しなる變動にはあらざる模樣なり尤も其後百斤に付三十錢の値下げを示せり在荷の排底甚だしき模樣なれば續きといふ振合にあり

●鐵平板 は不勢ながら稍々落付を見せし昨今在來暴落續きの揚句なる今日の情勢にては此上の相場につきての當業者の前途見込みは全く渾沌の狀に陷りつゝあり

●再製鹽ヂリ安 最近不賣時期に入り販路開拓に荷動き閑散となれり殊に仁川各製鹽所共目下製造を休止し何れも製品の手持ちを存ぎざるも南尖續きの日歩り甚しき折柄各自多少賣急ぎの傾向ひを唱へられつゝあるが如何の賣物現はれつゝあるも中には同地にて現の九十錢乃至一前の不質に之を五に鉛印賣を於ける二三の製出當局は其規模にて日々の製出を…に比し割安を叩き居れり目下は九十五六錢なるも近く九十錢處突込むべき傾向なり

●蘭共同販賣狀況 ●慶北大邱(六月二十日) 相場は矢張保合なれども出廻り期を過ぎて以來品質の輪落ちせるもの現はれ爲めに相場は幾分下落の傾きあり 二十日分 最高五十四圓、最低四十七圓 二十一日分 最高五十三圓二十錢、平均四十九圓五十錢

●紺絣木綿 染料高其他の關係より本年の當地相場は…

各地商況

○木浦(二十二日の穀物) 本日も亦目星しき材料なく地場人氣は何等の變りなく保合を保つ…

京城正米

人氣は相變らず持合なり…

南大門の廻穀

仁川現物市場

雨天にて入荷なし 正米 同前 大豆 同前

仁川期米

倭館小豆 二八〇 西井里 二八〇 陵山砌 一六〇

▲二十三日前場 前引け十三圓四十三錢に比し一錢安の入 大阪…

電一節二十四錢三節二十八錢四節三十二錢と漸騰移 五十九錢と瓦落 徐々に跳ね返

確實 仁川取引所仲買人 廣澤正太郎 電話六五〇番

迅速 (定期米穀賣買委託)

▲續て激戰 市場零聞

▲前場の手振 激甚 兩派の活動

▲相場變動す 硬派の活動 軟派の活動

▲取組增大せん 强弱の旗幟鮮明

行賣仲買店 吉 仁川

▲或は十萬石以上に 上に顯はれ 全部裏面に

▲益愼重を望む

小賣白米

現金賣 一等白米 十四錢 次白 十三錢五厘

仁川米豆取引所

二十三日の八月限

寄付	十一圓七十八錢
高値	[illegible]
安値	[illegible]
止め	[illegible]

前場平均値段

一節	[illegible]
二節	[illegible]
三節	[illegible]
四節	[illegible]
五節	[illegible]

賣買取組高

六月限	千四百五十石
七月限	四千五百五十石
八月限	七萬二千五百石

北濱だより

▲主力株と採算株

▲久原新反撥す

▲日石株の低落

▲東拓米賣藥無根

●暴風警報(六月二十三日午前九時發表) ▲警文 風雨强かる可し▲低氣壓の位置 近の低氣壓は北方に滯留して漸次消滅せんとしつゝあり南鮮一帶には尙降雨ある可く京仁地方も其餘波を受け天候不良となる可し

朝鮮總督府許可

■內用精 効能 神經衰弱、神經痛、老衰、子宮病、胸病、痔病、營養不良、胃腸病より起る諸病の滋養强壯劑なり

■外用精 効能 神經痛、健康、質斯、火傷、凍傷、切傷、打物傷、腫物、肩の凝血に螢れ時筋の張れ等によし

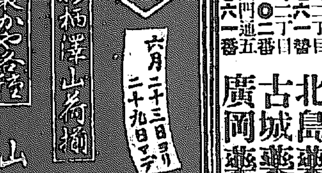
人參直引大販賣所 京城朝鮮名産一切 人參エキス 養藥餅 製造發賣元 京城本町一丁目 津村兄弟商會 電話一四八〇番

特約店 京城本町二丁目 北島藥房 電話七六一番 京城本町二丁目 古城藥房 電話一〇二三番 京城南大門通五 廣岡藥房 電話二〇六一番

小兒良藥 樋屋奇應丸

專治 소아의실신간질 급발성열증 等に奇効神の如し 到る處の藥店に有り 本舗 樋屋合資會社 大阪天滿橋

大 六月二十三日ヨリ二十九日マデ ゆかた地大賣出 特製かや各種 新柄澤山荷揃 ゆかた地一反五十五錢均一 但五百反限り 京城本町二丁目 山口呉服店



京城女子技藝學校 講演 愛國婦人會朝鮮本部

無代進呈 御試驗用として植物性化粧水每日五十人限り無代進呈す

家庭用化粧品製法短期教授

化學化粧品教授趣意 家庭用化粧品簡易製法は應用化學に趣味を與ふるのみならず衞生と經濟に便利を兼ね家庭の福利を增進し國家經濟を助くる事大なり余は淺學非才を自ら揣らず女子高等師範學校を初め女學校婦人會及び多數女工を使用する大會社の聘に應じ百餘度び化學化粧品の實驗講演をなし々有効なるの感謝狀を得たり今回當地諸姉の勸誘默しがたく渡鮮紀念の爲め化粧品簡易製法短期敎授を進歩せる(但し本日より向ふ七日間)

教授種類 第一種 白粉(水白粉 煉白粉 白粉 乳白粉 化粧白粉) 第二種 化粧水(日焦止化粧水 ビ取化粧水 化粧水) 第三種 洗粉(煉製洗粉 製粉) 第四種 齒磨(煉齒磨 粉齒磨 水齒磨) 第五種 香水(ハンカチ用 頭髮用 洗面用)

教授期間 如何なる人と雖も二日間にて修了す

教授方法 自宅教授出張教授の二種とす

教授料 藥品代不要にて一種に付き一圓

京城南山町二丁目(花仙前) 梶本尙美

旅行者に警告 出立の時必ずアルボースの携帶を忘れざる樣注意せよ

拜啓尊實貴下が繼承せられたる橋本商店の賣買高を通算し最多額なる事は貴下の奮勵努力と信用の厚きに因るの御功績と相認め居候得共獎勵規定には名義變更の場合に於ける莚表の方法なきを遺憾と致候不惡御了承被成下度得貴意候早々敬具
株式會社大阪堂島米穀取引所 理事長 高倉藤平
仲買人 曾我一郞殿

以上は挨拶狀の大要にして勿論弊店は敢て恩賞に與からんとするものに非ず唯だ賣買高最多額なる事の證明を得て衷心滿足するものに御座候是畢竟江湖華客諸彥の深厚なる御同情御引立の賜賚なりと深く奉感銘候

努力致富之寶 無代進呈 大阪堂島米穀取引所仲買人 曾我一郞商店

新築移轉御披露 今般業務擴張の爲め本町二丁目京城電氣會社前へ移轉仕候間倍舊の御引立奉願上候 京城本町二丁目(京城電氣會社前)電話九九四番 骨董商 伊藤寶古堂

內科 胃腸病 診察夜九時迄 京城本町一丁目 石川醫院 電話專用二七二九番 三三番

宮本武藏

第七十八回

桃川如燕口記　浪上義三郎速演

茲で一刀利七が負けると白倉源吾右衛門先生が出なければならんから是非共喰止めて仕まはんければならぬ、先生に御手を下させるやうな事があつては此方の不調法になるからと斯う心得たから　利『手前は稽古未熟の者でございますれば何分お手柔かに願ひます　武『委細承知いたしました』と云つてヤット双方立上つた、名目は師範代杯といつて立派だが、武藏先生の目から見ると全然小兒同樣ゆゑ、直ぐ　武『お面……と又頭へ來たから、參つたと云へば好いものを、先生に叱られはしないかと思ひ且は極りが惡いから　利『カスッター　武藏先生は忌々しい奴だと思つてポンと今度は胴へ這入ると又同じく　利『カスッター……と云ふ、其からポン〳〵何所を打つてもカスッター〳〵と云ふ、薩摩の浴衣地のやうに皆絣りに成て仕まふ、餘りのことに宮本先生も腹を立て丶ピシリ小手を打つ、打たれて一刀利七腕が痲痺て思はず木劍を取落したから、如何になんでも今度は參つたと云ふまいと思ふと矢張りカスッターと云ひながら飛込んで來たゆへ、グイと體を捻つて置いてソレと横に突いた……前から突けば圖へ力を入れるし、後ろから突けば爪先へ力を入れて踏止るが、横から突かれては叶はない……横から突かれて大丈夫なのは蟹ばかりで　利『アッと云ひさまドターリ横に打つ倒れた、處を宮本先生がポン〳〵〳〵と利七の腰を打ちますと、利『カスッター〳〵〳〵と續けさまに云つて居たがモウ立切れなくなつたと見ゑて、一番終ひに　利『參つた〳〵……先刻から拙者が參つた〳〵と申して居るのに、何で左樣にお打ちなさるか承りたい』武藏先生はニコ〳〵笑ひながら　武『イヤ參つたと仰つしやれば決して打は致しませんカスッター〳〵と仰ッしやるから打ちました　利『左樣で、其では拙者が參つたと云ふべきをカスッタと間違へたんで』と赤面をして一刀利七は下つて仕まひました、時に白倉源吾右衛門は面を著け、小手を付け其へ立出で　源『ナカ〳〵の御伎倆、此上はイザ源吾右衛門御相手いたしませう』ソコで宮本考へた、今度は『本ちやア思ふやうに働けない、何にしろ當城内の指南番だから兩刀を持たふと思つて稽古附木刀を二本スパッと腰に差した、此時に白倉が　源『エ、御修業者にお尋ね申すが、貴方は兩刀をお使ひなさるか　武『左樣拙者は元來兩刀でござるが、空腹ゆゑ一刀でお相手をいたしたが、此度は持前の兩刀でお相手をいたしまする　源『左樣か、マ少々お待ち下さい、エ、宮本……宮田……武藏……武助……宮田武助と仰ッしやつて兩刀をお使ひなさる……ハテ……エ、豫て御高名を承知いたす宮本武藏先生ではござらぬか伺ひます　武『左樣其の宮本と申すは拙者でございます』スルと白倉は面小手を取つて其へ平伏し　源『どうも誠に失禮をいたしました、御冗談ばかりなすつて、宮田武助など丶仰ッしやるから、普通の御修業者かと心得ました、意外の御不禮を仕りました、コレ門人衆此處へ參つてお謝罪をなさい、此の御方は兼て御大名をお聞及びでもあらうが、宮本武藏先生である、お戯むれに宮田武助と仰ッしやつたのだ』是から一刀利七を初め一同の門弟其れへ出て謝罪をする　源『サア〳〵此方へ……』と宮本を奥へ連れて來る　武『ア、白倉先生、誠に申兼ねましたが空腹で堪りませんゆへ、お香物で茶漬でも宜いから切望頂戴をしたい　源『イヤ當道場には素より左樣な規則はございませんが、宮田抔と仰つしやいましたから出放題の詰らん事を申して誠に恐れ入ります』と是から山海の珍味を取揃へて御馳走をした、翌日立たうとすると　源『切望先生モー一日御逗留を願ひたいと云ふ、其翌日又立たうとすると　源『何うぞ一本お稽古を願ひたい』と云ふから何うも人情として振切つて立つ譯には往かないからモッ一日〳〵と云ふ儘に心ならずも七八日間滯在をいたしたのが惡かつた、玆に宮本が一世の大難に罹るといふは次回に……。

明治町フランス敎會右トナリ　岡村介石

泌尿器病專門　入院隨意（診療夜九時迄）　腎臟病　膀胱病　淋病　梅毒　軟性下疳　痔瘻　皮膚病　永樂町二丁目　金光敎會隣り　安部醫院　電話四一九一番

六月廿五日九星　舊五月廿五日癸巳　本命七赤西開大安

▲七赤　一寸の蟻の摘む事有る日注意新事見合南方は吉暗劍西▲八白　新入れよき日轉居入學金件名弘旅行出漁婚禮特許出願等萬吉▲九紫　吉な事多き日新事手控當の事は吉貸借の口入等せぬがよし▲一白　美しき日轉居出漁入門名弘家作求職金件緣組入組の利を計る等皆吉▲二黑　買入有る日轉居入學金件求職出漁採用婚禮定期取引等萬吉▲三碧　間におちぬ事有る日新事手控舊事は吉新取引は用心の事▲四綠　取柄なき斷有る日新事手控舊事は吉一切のかけ事を禁ず▲五黄　古き事より利益を生ずる日萬進で利有待人見報を齎して來る▲六白　萬事の日轉居開業等萬進で利有女子の婚約を結ぶに大吉祥の日也

演藝案内

日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店　櫻井町　大正館　電話八七三

六月二十二日より新寫眞　●喜劇二人のポツプス　●實寫歐米の時事（獨逸海軍艦隊）第三十二號　●藤澤淺二郎一派大悲劇　活動寫眞立花合同劇　新派悲劇意外の秘密　全三卷廿七場　[illegible]　◎泰西軍事大活劇傳令使　全三卷三千尺　[illegible]　◎舊劇忍術名人神通力源太　全三百廿七場　[illegible]

日活會社朝鮮代理店　新派悲劇　意外の秘密　神通力源太　大正館　大好評！初日滿員　日活會社最近技術應用

天然色活動寫眞株式會社朝鮮一手代理店　Mカシー商會　電話二八五二（階上）二六三七（階下）　黄金館

六月二十三日より特別大興行　○ユニヴァーサル會社特別大作品　○實寫ロートザー喜劇二人ブルーム　△米國日本館日本映寫權利附　○世界的大冒險大探偵大活劇『名金』全二十二編五十卷の内第一二編　[illegible]　◎舊劇二代目猿飛佐助　[illegible]

六月廿三日より特別大興行　黄金館　愛活諸君見落し給ふな　世界的大冒險探偵大活劇　▲第一名金第二　全五十卷の内　舊劇　二代目　猿飛佐助　全五卷　▲活動寫眞界の一大雄篇　一度去れば再び來らず▼

本町　電話五七八　壽座　貧我廻家蝶々合　一番目　新日影の誠　二番目　破れ三味線　三番目　[illegible]

明治町　電話二六〇番　浪花館　お馴染の恭碧獨演會　六月廿三日より毎夜七時開演仕可候　前座員出演　滿洲地圖　軍事探偵　善惡乳兄弟　女一双子　美人（右長講三席京山恭爲）　入場料特等の外十錢均一

御成町　電話二九一　御成座　第十四回目替藝目　壹番目　手紙の開封　全五場　武番目　悲劇箱入娘　全三場　[illegible]

◎見切書籍　三割引廣告◎

日本家政學會發行　前太平記　定價三一〇　郵稅八〇

米國ウインスローテイラー原著　譯者星野行則氏　事業的管理法　定價一三〇　郵稅二〇

木村鷹太郎著　在五中將業平秘史　定價一三〇　郵稅二〇

須藤光暉著　法然上人　定價一三〇　郵稅二〇

小杉天外著　長者星　定價二〇〇　郵稅二〇

饗庭篁邨著　雀躍　定價一五〇　郵稅二〇

高濱清著　俳諧師　定價一〇〇　郵稅二〇

▲國民叢書　德富猪一郎著

十二版　天然と人　十一版　風雲漫錄　四版　家庭小訓　六版　經世小策 上卷　五版　經世小策 下卷　十版　寸鐵集　九版　文學漫筆　六版　漫興雜記　九版　世間と人間　九版　社會と人物　十二版　生活と處生　五版　處生小訓　五版　人物偶評　三版　敎育小言　再版　近時政局史論　五版　讀書餘錄　七版　第二天然と人　四版　第三天然と人　十版　日曜講壇　自第二至第十二　日曜講壇　八版　進步乎退步乎　十版　青年と教育　十三版　人物管見　二版　文學斷片

定價　郵稅　各[illegible]

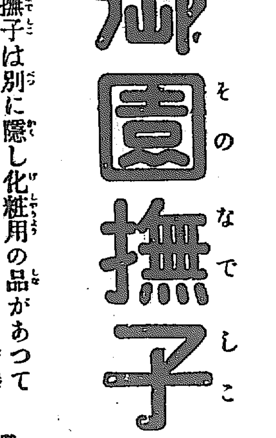
發賣所　京城太平通　京城日報代理部　振替京城三〇〇番　電話六六〇番

六月廿五日より三十日まで　かや　大賣出し　京城明治町　唐川吳服店　電話二六一番　期間中五歩引　見切物色々あります

寫眞　寫眞出張撮影　寫眞銅版・亞鉛凸版　最も熟練せる技術を以て最も敏速と叮嚀親切を旨とし御高需に副ふべく候　京城日報社　寫眞製版部　敬白

美人美男子コレカラできる色白くなるゲンソ液

今東京で大評判の元素液色黑き顏赤き顏日ヤケおしろいヤケ、アレを防ぎキメをコマカに眞に色白く美人美男子となる全國の藥店小間物化粧品店にあり近所に品切の時は切手代用御申込あれば送品す　送料内地八錢　滿鮮卄錢　臺樺卄錢　東京神田和泉橋際　松本藥店　小壜二十錢　徳用四十錢



外出になくてならぬ化粧料

手輕に顏直しの出來る白粉

打白粉

御園撫子

打白粉御園撫子は化粧崩れを完全に直すに適當な懷中持化粧料、使用法は輕く叩いて輕く拭くだけで、旅行觀劇其他會合等に御出の節何時でも御役に立ちます。

御園撫子は別に隱し化粧用の品があつて是は白粉氣が目立たずにほんのりこ地肌を美しく裝ひます、共に脂肪拭き汗押へに效能多く又匂袋の代用にもなります。

本舖　伊東胡蝶園　（定價金十錢）　發賣元　丸見屋商店

(128)

復又最新自働車來る!!

□時世の要求は今回新たに八人乘り自働車を購入しました
□青葉若葉の風涼しき盛夏長途の旅行は自働車に限る殊に
□春川京城間は二十四里馬背は三日安全で捷徑は矢張自働車
□當組は二臺を毎日往復其上運轉手も熟練安心の上御愛乘を乞ふ

京城南大門通一丁目三番地　電話二一九　廣橋京春自働車組　主務　金正淵

春川取扱所　農工銀行側　李炳億　電話四四番

淋病新藥　内服　ツヨール

故下山藥學博士、慶松藥學博士證明、田中醫學博士實驗、朝比奈藥學博士、岩川醫學博士檢定、笹川醫學士、加藤獨國醫學士、山田獨國醫學士等の實驗の結果理想的治淋劑と確定せる

○到處藥舖に販賣　發賣元　東京日本橋區元大坂町九番地　ツヨール商會　關西代理店　大阪道修町　田邊五兵衞

▲本品は殺菌强大にして絶對に胃腸を害せず膀胱カタル、尿道炎、睾丸炎、其他一般急性慢性淋病に偉効を奏す　百粒入壹圓五拾錢　五拾粒入八拾五錢　說明書無料贈呈

(中)年無休刊 (明治三十九年九月十八日第三種郵便物認可) (土曜日)
THE KEIJO NIPPO 大正五年六月二十四日(一)
第三版
京城日報
廿四日朝刊(夕刊と合せて八頁)
發行兼編輯人 奥田直毅 印刷人 小川三之介 發行所 京城日報社
大阪期米特電 (廿三日)

戰局の大觀

京城日報

歐洲各方面に於ける、戰局を大觀するに、最近に至りて、聯合國側各軍隊が、活動を呈しつゝあるは、洵に喜ぶべき現象なりと謂はざるべからざる。即ち露軍が、連戰破竹の勢を以て、ガリシヤに進入し、既にツエルノウヰッチを奪取し、レンベルグに迫らんとするは、其の最も重要にして、且つ著大なる行動なりとし。次で英軍は西方戰線に於て、本月初旬獨軍が、イープルと、コシン鐵道とポージユとの中間を一度突破せしも、直に逆襲して之を撃退せり。更に伊墺方面に見るも、先月末迄は伊軍の旗色頗を振はざりき、由來伊國は、歷史上之迄墺軍と戰を交へて未だ勝利を得たる驗なきが故に、今回も精神上既に士氣振はざりしも、墺軍が長驅、ガリシヤに進入したる捷報の到るや、全軍の士氣急に昂り、アジアゴ高原に於ける、墺軍十八大隊の密集突撃をも、見事に撃退した。亞細亞土耳古方面に於ても、土軍は濠洲より増援を得しに不拘、露軍依然として揮へり。而してヴエルダン要塞に於ける獨軍は、四哩以內の地區に、迫りたりと傳へらるゝも佛軍は自信を以て、固く守りて動かざる也。叙上に見るも、漸次聯合軍側の活動が、大に有利に向ひつゝあるは明白にして、就中最も注目を要すべきは、ヴエルダン戰及びガリシヤに於ける露軍の活動なりとす。

最初獨軍が、ヴエルダンを攻撃せしは、正攻に非ずして、寧ろ牽制的たりしの觀ありたり。即ちヴエルダンに牽制して、西方戰線中、佛軍の比較的薄弱となりし地點を窺ひ、突破兩斷し、一方は直に北上して、英本國を威嚇せんとせしもの〻如かりしも、ヴエルダンの佛軍能く防ぎ、且つ獨逸をして、其の乘ずるの機なからしめたるより、獨軍は遂に、ヴエルダンに全力を注集するの、止むを得ざるに至りたるもの〻如し。而して今日迄獨軍が、既に約四十五萬餘の犧牲を出して迄も、尙ほ且つ猛撃を續けつゝあるに對し、ヴエルダン要塞の陷落が、果して其れ丈けの價値あるや否は疑問なり。何となれば、佛軍側には、曩に同要塞に對し。二樣の議論ありて、一時は之を放棄すべしと迄唱へられ居たるも、之を支持し、其の後方に、第二の堅壘を築設すると同時に、ヴエルダン要塞に、敵の兵力を集合せしめて之に多大の損害を與ふる事となり、以て今日に及び居れば、佛軍としては、既に豫期以上の目的を達せるに反し、獨軍は寧ろ其損害の多大なるに鑑み、此際假令同要塞を攻略するとするも、決して大なる成功なりと認むる能はざる也。唯其の士氣上に於て、幾多の好影響を與ふるあるのみ。されば之に依て、佛國が媾和を希望すべし等は、先づ以て首肯する能はざる所なりとす。

之に反して、ガリシヤの露軍にして、目下の優勢を以て、前年の如く一氣にカーパシヤン山脈を占領し、猛然匈牙利本國に殺到せんか、既に疲弊に苦みつゝある墺匈國は、直に之を迎撃して、露軍と花々しき、雌雄を決するの勇ありや否や。要するに、露軍の進出は、最も重大なる意味を有するものたるを疑はざる也。

獨逸の現狀(二)

△實業界の用心

然れども余は少くとも或る種の實業家は國家の行動に依頼せずして既に自ら私人的計畫に着手せることを信ず可き充分の論據を有す。即ち化學製品、硝子及び電氣機械の製造者にして樞要なる地位を有せる人士中には海外、殊に瑞西に於て適當なる工場を設くることに著目し、或は分工場を設置し又は單に荷造工場を設けて以て戰後輸出の獨逸製造品の原産地を晦ます工夫を爲し居れり。然れども此は單に戰後の第一年に於ける『惡感情』に對する豫防策として行ふ一時的措置に過ぎず、何となれば獨逸人の自力強き、唯一の競爭者たる英國と雖も其の屬領地及び植民地との貿易に於てすら獨逸に打ち勝つこと能はざる可しと確信せるを以てなり。又某工業地選出の國會議員は余に告て曰く

英國の貿易政策と獨逸の貿易政策とは根本的に於て相異れり、英國は如何にするも單に防禦計畫を立て得るに過ぎず、而も之を打破するには只戰爭に打ち勝ては足るなり、加之將に成らむとする中歐關稅同盟は英國が攻防孰れかに使用することあり得べき關稅上の武器を無效ならしめたるのみならず、更に進むでハムブルグより小亞細亞のバグダッドに至る迄同一經濟狀態の下に在る領土の連亘を見るの利益を生ず可し、と

△死傷者の數

余が頗る興味を感じたる今一つの問題は獨軍の兵數如何に在り、此點に關し余は獨逸人記者にして獨軍死傷者表の研究に最も力を盡しだる人と邂逅するの好機を得たり此死傷者表は日々公表せらるれども新聞紙上に轉載し、又は之を總括記述することを得ず、而して今日に至りては複雜を極め一般公衆は其の計數の詳細を知る能はざるに至れり、余の知己となれる前記獨逸人の計算に據れば開戰當時より千九百十五年十二月七日迄に發表せられたる死傷者數は合計左の如し

戰死者	五二〇、八二三人
捕虜となれる者	七一七、三五八人
負傷者	一、五七〇、七七八人
總計	二、八一七、九五九人

以上總計の內二百三十萬九千八百三人は普魯西軍の死傷者にして殘餘はバヴーリア軍、サキソニア軍及びヴエルテンベルグ軍に屬するものなり假りに參謀本部の稱するが如く負傷者の六割が軍隊に復歸せりとすれば公表せられたる死傷者數中、實際の損害數は十六箇月に百八十七萬五千四百九十六人、即ち一箇月に十一萬七千二百十八人の割合なり、然れども獨逸人民中には未だ斯かる事實の眞相を認むる者なく其死傷者數に關しては極めて漠然たる觀念を有するに止まり寧ろ實際よりも輕視し今日も尙ほ自國の兵數を以て敵軍より優れるものと信じ居れり、尙ほ一旅の人士にして現戰爭に於ける露國の一大缺點は其の兵數の過多なるにありとの言說を眞面目に辯護する者もあり、彼等の唱ふる所に據れば露國は其の夥多の兵員を使用する能はず、其の夥多なることは偶以て戰場に用ふ可き軍隊の組織及び武裝を錯雜困難ならしむるものなりと云へり、余は獨逸旅行中幾度も斯かる驚く可き議論を聞かされたるも今尙ほ其の要領を得る能はざるなり

金剛山寫生

平福百穗

三佛巖は自然の岩に……を彫してゐる、靑鶴、香爐の……峰もこの……中に收め得る。

城壁文學

小田省吾

(第二)李朝太祖京城奠都の眞相

後龜山天皇の元中九年(南北朝合一の歲)七月、李朝太祖李成桂高麗王氏を廢して、朝鮮に君臨するや、先づ都を遷して人心を新にして國家の隆昌を圖らむと欲した。併し最初から京城を奠都せむとしたのではない。第一に國都の位置として選定したのは忠淸南道公州郡の雞龍山であつて太祖實錄に據るに太祖の二年正月王は親ら往いて其の地を相して還り、侍臣を留めて直に新都の經營に着手せしめ、次に新都に屬すべき州縣を定め、慶尙全羅二道の按廉使に命を下し役徒を徵發して新都に赴かしむる等の記事がある。此の工事は其の後約二箇年繼續したのであるから、餘程まで成就したか確とは分らぬが、分出來たものであらうと想像する。今でも雞龍山に若干宮址を存するの事である。然るに太祖二年十二月に至つて突然新都の工事を中止した。尙其の次第は何故であるかといふに、當時、定都の如き大事件を決するには、第一其の地の國內に於ける位置、山河の形勢、漕運の便否等、政治上軍事上の考察をするのであるが、又一面には風水圖讖の要件に合することが絕對に必要であつた。朝鮮人が其の墓所を定めるのに一般水說は即ち地相法であつて、今日地師の說に依ることは皆人の知る所である。當時書雲觀といふ役所があつて天文地理曆數等のことを掌り、斯かる大事に當つたものである。圖讖說は、一種の迷信であつて、彼の有名なる道詵の秘錄は即ち其のオーソリチーである。元來雞龍山の新都は書雲觀の相地に基いて創めたのであるが、此の時京畿道觀察使で圖讖の大家であつた河崙は上言して盛に其の建都の地にあらざる所以を論じた。是れが實に折角の新都經營を中止せしめた原因であつて、是れに依つても如何に斯かる說が朝鮮人の頭を動かすに大なる力あるかゞ解る。

日報歌壇

□芽生えし題　京城 鈴木吉都子

我が心我れに逆きて爭ひぬ彼の背教者の方人のごと
春はゆく胸に芽生えしかなしみの名知らぬ草の花咲きそめて
うつら心地うつら〳〵に醒めたる夏の夜明の碧き大空
いと安き心になりぬ歸依しぬと眞しやかに云へる我が魂

日報俳壇

雉子郎選

子なき身を若く仕ふる袷哉　同
梅雨に閉ぢて母と在り燈下　同
農具磨ぎて土間明るさや初袷　秋汀
一望の山皆墓や青嵐　同
亘船擣る浪見て高き幟かな　同
女教師を侮る生徒百合の花　求青
山越えて來る針子や百合の花　同
兵に賣る忙しき婆や柏餅　同
大幟門より出され見ある家　よしみ
幾度か膝折る驢馬や青芒　雉子郎

□夏の句を募る。六月三十日限、京城府瑞鱗洞三十四浮城會宛投稿の事
□小生職務上の都合にて右の募集を最後として選句を辭する事となれり(雉子郎生)

黄金館と破天荒の御土產進呈

自廿四日

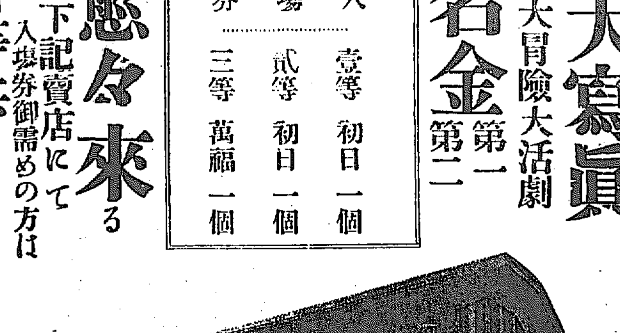
▼下記賣店にて入場券御需の方は

漏れ無く景品進呈

入場券販賣所

黄金町三丁目二五五(戎湯前)	藤井勝次郎
黄金町四丁目(電車停留場前)	富士屋商店
黄金町四丁目(電車乘替角)	林駒次郎
本町四丁目(電車終點角)	內田商店
櫻井町一丁目六二	森浪平

黄金館新築落成を祝福して當分の內上記の方法にて御土產進呈致しますから精々御需めを願ます



(新築落成せし黄金館)

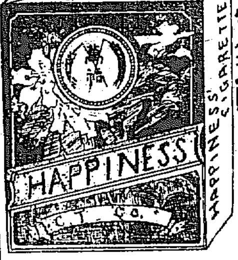
世界的 大寫眞 大冒險大活劇 名金 第一 第二

入場券	
壹等	初日一個
貳等	初日一個
三等	萬福一個

愈々來る 下記賣店にて入場券御需めの方は各等共御土產進呈致します

自六月廿四日 特別大興行 於 黄金館

當分之間



入場券發賣所

櫻井町一丁目	二葉屋商店
本町三丁目	たからや號
本町三丁目	伊藤商店
櫻井町一丁目	松本スエ
本町三丁目	後藤商店

朝煙黨の大福音

▼是非とも御出掛なさい

朝鮮煙草株式會社

代理店 京城南大門通五 電話二七七一番 板倉京城支店

○段國務卿踏止まる

約法問題に就き議合はず國務卿段祺瑞氏は二十一日辭表を提出せしが黎總統は之を懇撫し留任せしめたり、段氏は多分袁世凱氏の葬儀迄留任するならん(北京特電)

○廣東省の獨立取消

二十一日附を以て左の命令出でたり(北京特電)

一、振武上將軍廣東軍務龍濟光より九日獨立を取消し中央の命令に服從すとの電報あり又同將軍は世界的眼孔を以て速かに統一を圖れと云へり是れ眞の愛國家にして嘉賞の値あり、同省の善後策は同將軍宜しく籌策以て地方を維持せよ

○林男曰く 前伊國大使

林權助男は對支方針に關して語りて曰く支那時局の收拾は支那國民に一任す可く今支那に特使派遣の必要を認めざる可しと(東京電報)

○鹽稅剩餘交附困難

支那政府に對し鹽稅剩餘金の交附は佛國海蘭鐵道借款延滯利子七百萬法を受取る迄不可能とするを以て之が交附は困難なる可し(東京電報)

○莫大なる露軍の戰利

露都來電公報に曰く、ストクツホッド河畔に於て數回に亙る激戰行はれルツクの西北方にては獨軍の密集突擊ありたりヴゴヴイナに於ける露軍は敵軍を追擊しセーレ河を渡りブルシロフ將軍麾下の軍は四日より十七日迄に捕虜十七萬二千四百八十四名、大砲百九十八門機關砲五百五十門塹壕砲百八十九門及び莫大なる軍用材料を獲たり(倫敦電報)

○伊軍活躍前進繼續

伊太利公報に曰くアスチコ西南に於ける敵の三回に渉る夜襲は總て擊退され敵側の損害甚大なり、フレンゼラサレ國北方に於て我軍は困難なる前進を繼續せり尙屢々試みられたる敵の逆襲は我軍の爲め悉く擊退されたり(倫敦電報)

○佛獨砲兵隊の活動

ミューズ河の兩岸に於て砲兵隊の著しき活動行はれたり(巴里電報)

○對希共同通牒

雅典來電に曰く英佛兩國公使は六月二十一日希臘政府に對し共同通牒を交附したり(倫敦電報)

○キ元帥記念像

滿場一致にて可決

首相アスクイス氏は英國下院に於て故キッチナー元帥記念像建設の動議を提出し元帥がクローマー卿と共に埃及の開放復活の爲め盡したる功績及び印度軍隊改造の功勞を稱揚すると共に今次戰亂に際して元帥の示したる義勇ある不斷的の精力及び秀拔なる手腕を稱へ次でボナーロー氏は動議に贊成し後ワードル氏は元帥と勞働黨の相互的信任に就て說く所あり、斯くて該提議は異議なく可決されたり(倫敦電報)

○工場法施行令案

工場法施行令案は猶ほ修正を要す可き點あり廿四日開會の樞密院特別委員會にて決定來る七月五日開會の本會議に附す可し(東京電報)

○經濟會議と朝鮮

巴里經濟會議の決議事項は廿三日本紙東京電に見ゑたるが假りに該決議を日本政府にて全部を實行するとし朝鮮に於ける影響奈何を聞くに今日の所敵國商人の在鮮者なく過般迄仁川に開店しゐたる獨商世昌洋行も既に引揚げ後に付何等の問題も起らざるべしと

○預金增貸出減

朝鮮金融界の趨勢

總督府の調査に係る五月末日の朝鮮各銀行預金貸出の總計を聞くに預金は現計四千百二十三萬二千九百五十一圓にして之れを前月末に比し九十萬零八千四百七十五圓の增加を示し貸出は同じく鮮銀農銀普通銀行合計五千六百七十二萬六千三百八十三圓にて前月に比較し三十二萬三千二百八十五圓の增加となり居れど此の增加は朝鮮銀行當座貸越の激增に基因するものにて一般普通銀行及び農工銀行の貸出は寧ろ減少し居り之れを大體より見れば預金增貸出減の趨勢なり尙ほ右の外東拓金融部貸出現計は公共團體貸附百八十八萬三千八百九十二圓其他の貸附及び農工債券引受高五百零五萬八千六百七十九圓合計六百九十四萬二千五百七十一圓並に地方金融組合貸出高二百十四萬八千四百八十九圓なりと

○山野區分調査

朝鮮の國有山野を要存豫定林野及び不要存林野に分つ區分調査は農商工部山林課調査班の手にて既に各道共大に進捗し居れるが更に朝鮮山野の調査上必要にて大仕掛けを要する國有山野民有山野に分つべき區分調査は經費其他の關係上未だ僅に試驗的に忠淸南道大田燕岐郡等の京釜沿線一部に實施しつゝあるに過ぎず然るに朝鮮の造林上より見れば特に朝鮮人に於て國民有の區分整然となり一區域の適確に自已の私有を判明すれば造林上に力を注ぐの度頗る强く天然樹の保育及び植林共に其の効大になるとの事にて各地方長官よりも國民有區分調査急施を要望し來る向頻々たりと云へば或は明年度よりは繁畊調査と併行し區分調査を行ふに至るべきかと云ふ

○京釜線工事近況

大田沃川間改築と若木、新洞、大邱間工事

大田沃川間十一哩鐵道線路改築工事は廿二日龍山鐵道工務課にて入札する事となり實地踏査中の北原主任技手より詳細說明を與へたるが聞く所に依れば本工事は頗る難工事にして就中隧道一箇所三千四百尺は全部堅固なる岩石より成り是れが穿鑿には全工事期間九百日中七百五十日乃至八百日を要すべく或は期間內に出來得ざるやも測られず又一箇所の如きは四萬立方坪の土工を要する地あるも其附近に搬送すべき土なく止むなく遠き場所に是れを求めざるべからず故に請負者一同も頭を痛め居れりと云ふ此の工事に關し聞く所に依れば本工事は約三年の繼續事業にて工費の如き未だ判明せざるも約百十萬圓內外なるべく材料の多くは之れを內地より輸入すべきは勿論なるも工夫其他の生活材料は大半を大田より供給を受けざるべからず然れば約三年間に二十萬圓を市中に流通すべければ現今の沈衰せる市狀を近く回復するに至るべしと云へりそれかあらぬか市中は寄りく此噂にて賑ひ居れり又慶北道若木、新洞、大邱間の工事近況を聞くに若木、新洞間は二月十五日より津田組請負の下に着々工事を急ぎ目下全體を通じて八分五厘方の工事を除き七月迄には竣工する豫定なれば遲くも七月末には列車の運轉を見る可く又新洞大邱間は四月廿五日より加藤洋行請負の下に工事進捗し十月末までには列車の運轉を見るに至る可し因みに該工事の爲め五月中津田組の使用せる延人夫員は內地人一千六百人鮮人一萬六百人加藤洋行の使用せる延人夫員內地人一千五百三十二人鮮人一萬九千八百五十人に達せりと

○團隊長會議 日程

第十九師團に於ては二十三日午前八時より團隊長會議を開催したるが日程左の如し

▲第一日(二十三日)午前八時半開會各隊長所管事務報告▲第二日(二十四日)午前八時半開會師團長の訓示△午後師團長の講話△參謀長の講話△第三日(二十五日)午前八時半開會△山田法官部長講話△岩田軍醫部長の講話△中川獸醫部長講話△佐尾經理部長の講話△午後早川主計正の講話△第四日(二十六日)實科に關する希望及指示

○地方廳の新營

大正五年度に於ける地方廳の新營は十一萬圓餘の豫算にて京畿道及び忠淸南道廳の增築及び郡廳の二箇所の新營並に地籍簿及び地籍圖を納むる各道郡廳倉庫七十二箇所の新築なるが既に入札に附し工事中の者あり近く入札するものあるべく何れも年末迄に竣工の豫定なりと

○苗代被害善後策

頃日來の洪水により京畿道管內の水田にして苗の流失したるもの又は苗代にして浸水したるもの尠からず其被害の善後策に就ては目下考究中なるが道は各郡に對し餘苗を利用すること、泥水浸入せる苗代にして稍苗の生氣充分なるものは拔取り泥土を洗ひ落し挿秧すること、已に植付たるものより分株法により植付ること、植付に際し一株の本數を減じ植付け面積を增加すること等の注意を與へ居れり

○織物組合の改善 京畿道

京城の織物生產業者を以て組織せる京城織物組合は大正二年創設以來趙子衍其他官邊の同情を得て事業着々進み現在にては三十六人の組合員を有し京畿道よりは年額一千餘圓の補助を與へられ居るものなるが本年度に於ては一層內容を改善し內地人技手を備入て技術の改善を圖ると共に曩に發布されたる同業組合令に依り組織變更の認可を申請中なりと同組合の事業として講話會、講習會、品評會等を行ふ可しと

○後援會支會好績

伏見宮貞愛親王を總裁に伯爵大隈重信氏を會長となせる帝國軍人後援會は朝鮮支會を設置し既に本年四月良辰を卜し朝鮮ホテルに於て寺內總督以下朝鮮の士人數百名を招待し盛大なる發會式を擧行せしが其後各道の部事務所にては專心後援事業に從事し豫期以上の好成績を擧げつゝありと

○商議表彰期日式

京城商業會議所にては豫て從來の日本人會議所に關係したる會頭及び役員約四十九名に對する表彰を行ふ可く既に之に要する記念章の調製をも終了し居れる次第なるが近く原田會頭の歸任を俟つて本月末日盛なる表彰式を行ひ右記念章を授與す可しと

○小學單級教授の進步

安心して子弟の教育を托せよ

學務課長 弓削幸太郎氏談

▲從來內地人の所在地には學齡兒童の數、十名以上に達せば小學校を設置することゝなり居れり、然るに戶數四五十戶も集まる地方は大抵十名以上の學齡兒童を有すが故に、此等の小戶數にて校費を負擔するには、假令教員の俸給は當局より支辨するも、學校に對して諸設備の完璧を期すること困難なるは當然なり、從つて地方に住居せる內地人は子弟の教養に就いて其不充分なるを憂ふる者尠からず、當局に於ても同情に堪へざる處なりしが、總督府にては此缺陷を芟除し

▲教育の徹底を期せんが爲め往年單級小學校の經營及び教授方法に關する調査委員を設け、種々研究調査の結果、其方針を確定して全る處を明示すると共に、京城並に慶南進永の二箇所に於て年々單級教授法講習會を開催し、兩所共內地有數の講師を聘して各地の單級學校教師を召集受講せしめ來れる結果學校の經營及教授方法は日を逐うて著しき進步發達の精を擧ぐるに至れり殊に

▲都會學校は 近時一學級少くとも五十名、多きは六七十名の兒童を收容教育するも單級制度の學校に在りては生徒數極めて少數なるを以て生徒の個性に應じ別個的取扱を爲し得可きが故に其の教育は都會の小學校に比し遙かに徹底的なる利益あり、此の特典は學校の經營並に教授法の改良と相俟ちて益々子弟の教育に顯著の效果を收め、今や設備の不完然を補うて餘りあるに至れるを以て之れまで子女の教育を顧慮して地方移住を遲疑し來れる內地人は今後意を安じて隨所の地方に移住して可なり

○京奉時間改正

本月十五日より北京奉天間直通列車郵便(旅客)第一第二列車を一二等寢臺車を以て編成せる急行列車とし運轉時刻を改正し同時に三等旅客の取扱を廢止する事とせり朝鮮滿洲との連絡發著時刻左の如し

▲北行

驛	曜日	時刻
釜山發	水曜	午後一〇時三〇分
南大門著	木曜	午前七時五〇分
同發	同	同八時二〇分
安東著	同	午後六時四〇分
同發	同	同六時一〇分
奉天著	金曜	同一一時四五分
同發	同	午前一二時三〇分
天津著	同	午後七時三〇分
同發	同	同七時三五分
北京著	同	同一〇時三〇分

▲南行

驛	曜日	時刻
北京發	木曜	午前三時〇〇分
天津著	同	同六時三五分
同發	同	同六時四〇分
奉天著	同	午後一一時四〇分
同發	金曜	午前一一時五〇分
安東著	同	同八時五五分
同發	同	同一〇時四五分
南大門著	同	午後八時一五分
同發	同	同九時一〇分
釜山著	土曜	午前六時一〇分

○高陽郡水害調査 京畿道

京畿道高陽郡神道面及び中面は頃日の洪水にて多大の被害を蒙りたるにより道廳にては二十三日より東山事務官林技手等を出張せしめ實地の調査を行ふことゝなりたり

○京畿道廳の增築 京畿道

京畿道は近來事務の擴張と共に廳舍の狹隘を告げ就中勸業係は道廳內の一隅に極めて小規模の事務室を設け此處に二十四五名の人員を收容し居れる次第なるが愈々改築を行ふことに決定し近々着手の筈にて當分勸業係は宣化堂に移るべしと

○大園局長北行

鐵道院監督局長大園榮三郎氏は二十三日夜九時南大門驛通過北行したり

○山形大佐歸任

豫て東上中なりし警務總監部高等警察課長憲兵大佐山形閑氏は既報の如く二十三日夜九時南大門驛着歸任したり

○原田社長歸京

社用を帶び東京、大阪方面に出張中なりし朝鮮郵船會社長原田金之祐氏は二十三日午後九時南大門驛着歸京せり

○金良場學校開校式 京畿

京畿道龍仁郡金良場公立普通學校は二十三日午前十時開校式を擧行し松永京畿道長官臨席せり

○簡易實業開校式

京城日出公立尋常小學校內に附設したる公立簡易實業專修學校は來る二十八日夜開校式を擧行す可き豫定にて目下準備中なりと

○金融界の前途

(大阪支局記者)

今月中旬に入り生絲資金の需要稍輻輳し東西市場の金融少しく活氣を帶びコール並に一流手形は一二厘方の小締を呈し月內コール六七厘月越一錢三四厘一流紡手一錢一二厘普通も一錢三五厘見當にして出方多く見送り模樣なり殊に各地方に供給せられたる繭資金の弗々ながら回收せらるゝありと雖も去る十五日鐵債第三回拂込外六百萬圓の徵收ありたると又一は生絲資金の需要未だ決了せず加之期末決算の氣構と共に期越の放出は其步合漸次に小締りつゝあり然れども日銀報告に依るに民間貸出は今月初旬以來漸次增加の傾向ありと雖も其の增加は甚だ僅少にして其の內容多くは外國爲替貸に屬し普通貸出は僅に三百餘萬圓にして月初以來移動を見ず民間銀行は主として預金の引出により市場の需要に應じたるを知るべし去る十七日帳尻は前月初旬に比し二千五百萬圓にして月初後殘高に比し約千五百萬圓を減少せり是れ主として繭絲資金の需要に基由すと雖も鐵債第三回拂込金も亦之に影響したるを疑はず而して最近兌換券發行高は三億八千五百萬圓にして月初以來約三千萬圓を增發したるは前叙の預金引出と又一は月初以來國債利拂千五百萬圓內外の散布ありたるとによりバランスを形成せるものにして民間金融の未だ動かざる所以亦茲に在り蓋し最近兌換券の增發は去二月以降のレコードにして今や發行餘力を盡し多少の限外發行を見るに至れりと雖も當期末の決濟を終了し七月以後資金の回收に接せんが其分量從つて又多大なるべきを疑はず資金の[illegible]今より之を想察するに難からず(二十日記)

◎水上警察講習會

警務總監部に於ては沿岸警察勤務の巡査部長巡査三十名を召集し來る七月一日より約十五日間海事法令漁業法令警務法規等の大要に就き講習會を開くことゝなりたるが講師は總監部並に遞信局海事課より出る筈

人事消息

▲國富學務局長 二十六日出發に變更

▲人見農務課長 二十四日午前八時三十分南大門驛發東上の豫定

▲須藤育次郎氏(濟生院主事) 內務省主催の感化救濟事業講習會出席の爲め七月三日發名古屋へ出張の豫定

▲戶島祐次郎氏 ▲辻本嘉三郎氏 ▲池田慶吉氏 ▲石生重次郎氏 ▲石野熊二郎氏 ▲長谷川和三郎氏 ▲吉村鶴三郎氏 ▲池尻林太郎氏 ▲森川萬次郎氏 ▲島野竹造氏 金剛山探勝中の處二十二日夜歸京

▲飯島紳介氏(工學士) 廿三日夜入京天眞樓へ

▲阿部翁氏(京城日報監督) 入京中の處二十三日[illegible]

▲田中長太郎氏(日淸生命京城代理人) 入京中二十[illegible]

▲內田[illegible]京の豫定

■南言北語■

此の間物故した天心細野次郎君は任俠と雄才で大分名を賣た男であつたが▲書畫刀劍の鑑識のあつた事は餘り人が知なかつたらしい▲彼は何處に行つても直に古道具屋に飛び込んで其處等を捜ね返した末▲氣に入つたのがあると懷へ捻ぢ込む▲亭主が三圓頂きますと云つても構はず五十圓も六十圓も投出して平氣だ▲友人が不審でもすると此の物は之れ丈けの價があるが賣主が知らねからと云つて餘り安く踏み倒すは不德だ苟も眞に鑑識のある紳士に掘出物なんかある道理が無いと先方以て如何なくすだね▲高田文相は隨分無頓着で旅行などでは能く物を忘れて來る▲其處で夫人が大きなトランクを買つて文相の旅行の際には之れに何にも入れる樣にと注文した▲此間早大の田中唯一郎君と共に靜岡に出掛けた時▲イザ歸京となると田中君のワイシャツが無い▲發車間際に大狼狽の末宿の浴衣を着て文相の羽織を借る事にしてトランクを開けると▲中からひよつくらワイシャツが出て來て大安心▲處が之は文相が夫人の申付を守つて珍しくも何でも手でもトランクへ詰め込む際襦袢もワイシャツも一緒にして叩き込んだと知れて今度は大笑ひ▲早大と云へば學長の天野博士は新しい下駄が大好きである癖に▲何時でも人のと取りかへて歸るので一策を案じ「天野」と大きな烙印を捺した▲處が尙だ能く取り替へて行くので近頃學校でも博士が退出時間には給仕が下駄箱の前に監視して居て▲其の下駄で御坐います、此の帽子で御坐いますと警告するので▲學校丈けでは取りかへぬ樣になつたとの事▲之れも厄介な一と噺か

金剛山寫生畫展覽會

東都畫界の泰斗平福百穗氏の金剛山寫生畫展覽會は愈々▲二十四日(土曜日)二十五日(日曜日)の兩日京城ホテルにて午前九時より午後六時迄開會▲當日は尙ほ同氏得意の風俗花鳥畫十數枚も同時に陳列し▲尙ほ東京諸名家の丹青になりし數十幅の書畫並に扇面をも陳列し▲甲乙丙の三種に類ち均一價格を以て卽席抽籤にて分配す▲參觀隨意=京城日報、每日申報社主催▲見よ其の雄渾精緻なる墨跡を

百穗畫伯執筆の名畫

京日案內

普通(一回每一行金三十錢[illegible]) 番外(一回每一行金[illegible])

▼中込後中途解約中止の節は何分通報を乞ふ

●下女に雇はれたし月給は望まず裁縫習ひたし(姓名在社) 876

▲古本雜誌高價買受 信用ある定評 本町二ノ[illegible] 電二五二七 ウツボ 920

●貸金 月收の御方へ信用秘密 御一報伺上候 京城大和町 不老湯前橫丁 起木 877

外務員募集 ▲二十歲以上▲履歷書携帶▼來店 本町一ノ四九 松井松榮堂 千輝 872

●古本高價買入 紫堂の勉强是非試買を乞ふ御一報御參上▲京城本町 四電話二七八一番 318

●見習看護婦二名至急入用 履歷書携帶來談あれ 仁川新町 小倉病院 855

▲菓子職見習入用 年齡十五六歲位の者本人來談あれ 東京堂 黃金町二 商品陳列館通 電二三一七 852

▲ホネツギ▼うちみくじき治療 ●明治町フランス教會正門前 電話二五九五 862

番外

電話讓受 住居氷室 878

▲朝鮮製氷社京城販賣部 本町二丁目 京城銀行前

移轉 今般業務擴張の爲め左記へ移轉仕候 京城南大門通三丁目(青木堂隣) 萬祥堂印房 電話一九九五 879

分拆 礦物各種 坂元分拆所 京城太平通二ノ一二五 電話一三四四 865

●鑛山測量開業 土木水利測量設計 忠州竹內鑛務所 863

名物老舖 居拔のまゝ 資本[illegible] 充分の利益あり 當方は黃金町三丁目 希望の方は至急申込あれ 姓名在社 859

農產種子御問屋 御買定價表申込次第郵送す 東京千住 在保木間 種甚商店 850

募集 營業部員入用 履歷書携帶本人來談あれ 黃金町三丁目 ▲京城新聞社 876

◎害虫驅除 除蟲菊粉發賣 京城南大門外 朝鮮勸農株式會社販賣部 874

恩給年金立替 月利[illegible] 短期無保險 京城武橋町二三番地 電話二二九三 京城日報社北方一丁 國江商會 836

恩給年金額 長期短期保險 市內土地擔保 低利金融す 京城南大門外(御成町) 山口屋 830

內科 小兒科 女醫 川崎慶子 京城明治町二丁目 長電話一五〇四番 875

觀相 京城舊龍洞 石龍子高弟 隈本[illegible] 816

時計學 修理獨習講話 植村支店 829

○臺北[illegible]地況 [illegible]

大工は曲者 京城南大門通[illegible]金[illegible]收[illegible]契約を[illegible]の[illegible]江岸にて洗濯中足を[illegible]らして[illegible]

……二三の沿線にてはたゞ大豆の出廻り良好なるのみ米價は目下の處前途の見込みも立たざるのみならず麥……

……は昨今驚くべき不振狀態に陷……其の原因に就き某專門家の語る所に……

……手振り……[illegible]……十五石にして昨年の収穫高よりは二……を以て一概に百八十四石を増加し居れり

……は龍山若草町の田島某が……の賣却方を同人に賴みたるを奇貨とし六月十三日頃……詐……十九日午前十一時頃妹と共に自宅前……

□蜻蛉つり

◉洋行土産（一）

警報に接して喜望峰迂廻航路を採る

總督府技師　坂田鳴海氏談

▽印度の視察三箇月…八阪丸奇禍の警報…豫定外の亞弗利加見物…元日は赤道の下で…セシルローヅの雄圖

昨年の夏朝鮮を辭し先づ印度迄行き錫蘭島の古倫母で船を替へてボンベイに渡り其處で初めて印度の地を踏み汽車、自動車の便に據り深く北西のベルチスタン、アフガニスタンの國境近く入りインダス河の流域を利用して設計せられた

△諸種の水利事業　等の視察をし乍ら南下して再びボンベイ迄來て更に道を內地深く北東に進みインダス、ガンヂス兩河の支流相接近する大平原に出で、ガンヂス河の流域に沿うて設計せられた諸種の水利機關を視察しつゝカルカッタに出で其から南下して再び錫蘭島の古倫母に來たが此間約三箇月を費やした譯である是で印度の視察を終へ

△東洋から來る加茂丸　に乘つて埃及に向ふ筈であつたが加茂丸は丁度古倫母で地中海航路を經て東洋に向ふ八阪丸と邂逅する筈であつた。處が八阪丸は待つても待つても來ない、來ない筈だ地中海で敵の潛航艇にやられたのだ。と云ふ事が知れると同時に私の乘つてる加茂丸は本社からの電命に依り地中海航路は航海が危險だから遠く南阿喜望峰を迂廻して行く事に爲た加茂丸の

△此南阿迂廻航路は　郵船の航路が變更されて第一の航海なのである。お蔭で豫定外の阿南聯邦あたりを見物する事は出來たが其代り豫定の埃及視察は到頭出來ないでしまつた。船は古倫母を十二月に出て元日は丁度赤道の上で迎へた南阿のナタールに寄港した南阿聯邦の一部たるナタールに船が著くと直に上陸して自動車を驅つて

△英國の大施設を一瞥　したナタールは有名の石炭の産地で炭質はカーヂフに亞ぐと言はれてゐる程で遠洋航路船の石炭搬の爲の港とも稱すべく其爲め汽船と汽車との連絡した設備の如きは正に完備したものであるナタールを辭した船はケープタウンに寄る此港は流石南阿聯邦の首都ではあり傑僕セシルローヅの雄圖の大舞臺ではあり見る可き處も鮮く無かつたが

△金が出金剛石が出　る鳥の羽が出、豐富な産物の澤山ある英國植民地中での重要な地點丈けに博物館、動植物園、電車、自動車其他此處の設備は總て最新文明の粹を悉く網羅して更に缺損した處なく流石大英國の植民地的な大味の施設が至る處所有もの金に飽かして施されてるセシルローヅの住宅も今は公會堂的に公會されて偉人の雄圖を偲ばせてゐるが東洋の游士亦一種の感慨に打たれざるを得なかつた

◉停職を命ぜらる

騎兵第五聯隊附陸軍騎兵少尉溫品賢介（二六）及び海軍航空隊附機關中尉加藤猛（二）はいづれも二十日附を以て停職仰付られたり加藤猛は素品行方正寡言實行の人にして極めて大膽なる評判ありしが廿一日突然停職となれり之が原因は嘗に第六期卒業生山口、室井、阪本其他各將校は靜岡縣清水までの長距離卒業飛行を爲せるに、其後六月二日同期卒業生たる栗野加藤兩中尉は卒業飛行として東京灣內側飛行を命ぜられし際加藤中尉は無斷にて同期生山口等の飛行せし清水灣へ長距離飛行を爲せしより命令違反に問はれ斯く停職を命ぜられしなりと（横須賀）

◉爆發藥で復讐

平南价川郡北面龍登里農劉允恒（三三）は昨年末迄同里雲谷站なる高井某の鐵山事務所に十長として雇はれ居る中碎岩用爆藥十數個と導火線百尺を窃取し豫て金錢貸借の關係より怨みを抱きたる同里天金俊及び其の兒金寬彬等を殺害せんと恐ろしき計略を爲して五月三日の眞夜中頃同家物置小家に忍び寄り積柴の中に爆藥を押し込みて逃げ出し居たるを斯くとも知らぬ金俊彬の妻朴春植は七日の夕餉を炊かんとて柴を持ち來り溫突に押し込みて焚き付け二回目に柴を挿入するや俄然雷の如き大音響を發して爆發し溫突を破壞し朴春植は右手小指を殘す外指全部切斷の重傷を負ひたるが犯人劉允恒は其後檢擧せられ平壤地方法院檢事局に送らる

◉巨豺に咬はる

平北寧邊郡鳳山面古城洞にては屢々ヌクテの殺害あり本月十六日午後八時頃同洞吳衛浩三男洪俊（三）は兄弟五名と共に自宅にて遊び居れる內一頭の巨豺現はれ洪俊を咬へて逃走したるより里民大擧して搜索の結果翌十七日同面龍興洞凝雲山の山中にて食ひ殘されたる頭部を發見せり又同日同洞林正賢三女（七）は兄弟三名と共に遊び居たるに巨豺に腰部を咬まれたるも救はれたり目下所轄武昌巡查駐在所にては陷穽を設けて驅除中なりと

◉女の指を斬る

江原道江陵郡內面大正町居大工職太田竹二郎（二八）は豫てより同地本町料理店須志田源藏方の抱へ酌婦青山孝子（二五）に懸想し屢々口說き居たるも一向に同女の靡かざるより去る十日同地旭町支那料理店興世錠方にて兩名出會したる際竹二郎は好機逸すべからずと言ひ寄りたるも手酷く排ねつけられたるより大に憤慨し有合せたる同家の鋭利なる肉切庖丁を以て孝子の前額部に二箇所斬りつけ尚手の指四本を斬り落し直ちに現場を逃走して姿を晦ましたるも翌日江陵警察署管內の駐在所に自首し出でたり因みに孝子は取敢へず應急手當を加へたれば五週間後には全快の見込也と

◉湖南出水甚し

全羅輕便鐵道不通

全北裡里以南の湖南線及び全州裡里間の輕便鐵道は出水の爲め復又不通となり群山支線も危險狀態にあり出水程度は前回以上なり尚裡里大場間の鐵道線路は出水の爲め破損箇所を生じ列車の運轉を中止したり（裡里特電）

……際し子供が邪魔になりしまゝ殺害したるものなるべしと目下極力犯人の搜查中なり

◉首の無い屍體

去る十七日慶北軍威郡孝令面將軍洞前倉前川下に子供の首無し屍體あるを發見し直ちに斯くと軍威憲兵分遣所に屆け出たり分遣所にては直ちに憲兵察補と共に現場に出張し檢視を遂げたるに屍體は二三歲位の女の子にして首を鋭利なる小刀やうのものにて切斷し加害者は何者か判明せざるも推測する所に依れば地方を徘徊せる子供ある寡婦が再婚するに

□鳥渡內緒で……

▽石川さんの失戀……

[illegible]

□百穗畫會

丹精を凝した金剛生寫生畫　廿四五兩日京城ホテルにて

今二十四日及び明二十五日午前九時から午後六時迄南山町京城ホテルに於て入京中の平福百穗畫伯が開催せられる氏が現今東都に於ける一流の畫家なる事は今更茲に贅するまでもない氏は去月中

▽金剛山　に遊び其の仙境に親しんで居つたが歸京後日夜筆を執つて金剛山の作に從事して居つたが愈々二十種に近い金剛山の大作を纏へ之れに氏の近業に成る十數種の作品を合せて展覽會を開く事に爲た猶當日の諸會には東都諸名家の作品二百數十點が陳列され玄關入口の右の

▽應接間　には百穗畫伯作の金剛山八潭、萬物相、長安寺、明鏡臺、靈元庵、楡岾寺其他の繪畫が陳列された左方の應接間には金剛山集仙峰、玉流溪、王流溪、九龍淵、摩訶衍、神溪寺、海金剛、寒霞溪其他の幅物が陳べられて居る百穗畫伯の作品は希望者の

▽需に應　じて頒かつ事になつて居る東都諸名家の作品は何れも表裝がされ甲、乙、丙の三部に分つて其の數七十餘幅に及び名作が甚だ多い特に渡邊華石氏の墨竹の清洒なる、詩人として又風流家として知られたる土居香國氏の老杉の雄渾なる石井柏亭氏のダリヤの濃艶なる其他

▽新進作　家の小山榮達氏結城素明氏、中村岳陵氏大家として知られたる[illegible]道彥、寺崎廣業、香川勝廣、畑仙齡氏等の作品が目も綾にヅラリと並んで居る念入に表裝がされてあるからそのまゝ持ち歸つて床に懸けられる猶此外に七十面餘の畫及び畫の扇子が陳列される扇子は甲と乙との二部に分つてある、甲は三圓である

▽金地絹　張の扇子であるから扇子ばかりでも二圓位は優にかゝる其の上百穗畫伯を初め松林桂月、結城素明、稻垣翰園、荒木十畝、池田輝方、坂石球、奥原晴翠等の諸大家の畫は東京に於ても相當の染筆料を要するのであるから之れまた非常に廉なりと云ふべきである諸大家の作品は各部に就て朝より夕方まで抽籤を以て頒ち作品は展覽會閉會後希望者に屆ける筈である

◉大田の大相撲

東京大相撲大田興行も近きたる事とて小屋は幸町通り松島町角五百餘坪の場所を選び既に七分方出來上り居れり尚ほ四五日は相撲の餘興に婦人に限り無料にて觀覽せしむる由初日取組左の如し

高千穗（兒島洋）（男島）大門岩
常の花（朝日山）（成瀨山）駒泉
一ノ渡（龍ヶ崎）（稻葉嶽）梅の川
逆鉾（四海波）（朝稻緣）大の川

巡業日記（鎭西山新藏）

□雨の鎭海港より

九州山[illegible]

▼河面　[illegible]

▼渤然　[illegible]

▼碧波　[illegible]

▼大錦　[illegible]

▼馬乘　[illegible]

▼魔除　[illegible]

（二十二日鎭海にて）

（宮城山（紫雲龍）（宇都宮
若木山（釋迦嶽）小常陸）（南
源氏山（栃木山）西の海）國
九州山（大錦）對馬洋

◉會計主任親睦會

各道及び秩關會計主任會議に列席中なる各主任と總督府會計課員とは二十三日午後七時より淸華亭に於て晩餐會を催し懇談を交す由にて出席者六十餘名なりと

◉貨車の轉覆

二十日午前零時四十分軍隊驛發北行貨物列車が午前三時新安州に著驛し該驛にて滿洲行貨車三輛を連結せんとて第十二號ポイントに差し懸りたる際後尾の貨車脫線し其儘轉覆したるが幸に從業員並に車體等に異狀無く程無く復舊せり

◉出來心

京城麻浦生れの劉文[illegible]（一九）は旭町一丁目牧石某方に雇はれ居る中六月十七日夜家人より煙草を買ひ來るべく金一圓を渡されたるより之れを携へ尚行掛けの駄賃に同家の塀に干しありたる蒲團、蚊帳一を攫つ逃げ入物品は古物商に賣却し……

◉消防義會賛助員

京城消防義會にては同會の趣旨に基き隣部會員より京城在住の左記の諸氏を賛助會員に推薦したり

▲本町三丁目田村義次郎▲同齋藤嘉興次▲同曾我勉▲南山町森勝次▲蓬萊町古城管堂▲瑠璃洞白完爀▲本町二丁目熊平源藏

◉惠み金

本紙記事哀れなる……家仁川內里高杉彌造に對し左の諸氏より惠み金を本社仁川支局に依託せらる

▲二圓淺松太郎▲一圓飯田茂登雄同荒木助太郎同田中金兵衞同倉重悌輔同平賀秀松同廣澤正次郎同土居……勝同行實秀吉同森勝治同高田常三郎同桑野良太郎同今木豊次郎▲五十錢小川賢太同津江米作同須永勢一郎同井川德藏合計十六圓十七名

◉化粧品自宅製法

內外化粧品の研究に苦心中なりし橋本[illegible]氏はその[illegible]進歩したる[illegible]各國各地の婦人會女學校等に[illegible]記念として一般婦人の爲めに[illegible]開始したるが其製法の簡易にて經濟的なるより一般の歡迎を受けつゝありと

運動欄

▲乘馬會講演延期　來る廿五日は第四日曜に相當するより普通ならば乘馬會講演ある筈なるが當日は偶々總督府にて地鎭祭執行する爲め且倶樂部員の多數差支ある爲め規定に依り次回の日曜に延期する事となりたり次回日曜の講演者及び演題左の如し

乘馬に就て　岡本師團參謀長
乘馬の種類　野口總督府技師

讀者文藝

▽川柳「先生」

○生徒等の好きな先生碌でなし（一等）　平壤泉町　南山子
△先生が[illegible]　京城　汀舟
△[illegible]　京城　安次
△先生が姉のある子を可愛がり　龍山　香公
△代診は先生顏で脈をとり　大邱　三木南山坊
△理科の時蛙に[illegible]　京城　紫光
△女教員[illegible]　京城　多勇子
△先生と云つて貰へぬ川柳子　京城　青果
△先生の尻尾にいつも[illegible]　京城　浪之助
△先生の[illegible]　大島　紫浦
△新派劇座長先生ですまして居　龍山浦　大石　鯛平

一口噺題　雨漏　締切廿二日　發表廿五日
はめ込　同廿三日　同廿六日
冠附「醫者とかけて」　同廿四日　同廿七日
狂歌「角力」　同廿五日　同廿八日
俗謠「涼み」　同廿六日　同廿九日
次回川柳「カフェー」　同廿七日　同三十日
同廿八日　同一日

■募集規程　▲用紙は端書又は同型の洋紙一枚毎に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事▲賞品は一週間後▲種類の異る毎に用紙を更ふる事總て一題二句以内の事▲此規程に違ふものは沒書

辯護士　白井水城

開城大和町（裁判所下）

謹告

今般釜山商業會議所評議員選擧に際し各位の甚大なる御同情に依り當選仕候段厚く御禮申上候

大正五年六月

敬具

（いろは順）

釜山寶水町　伊藤祐義
同　本町二　井谷義三郎
同　草梁　石原源三郎
同　岸本町　石川侃一
同　土城町二　磯村武經
同　本町二　迫間房太郎
同　辨天町　大池忠助
同　大廳町一　河野正次郎
同　大廳町二　香椎源太郎
同　本町一　武久捨吉
同　土城町一　武田愛治
同　辨天町　大黑酉松
同　南濱三　堤貞之
同　埋立新町　中村俊松
同　同　那須藤三郎
同　南濱一　中村久藏
同　古館　中野強助
同　南濱二　上田勝藏
同　大廳町四　山野秀一
同　佐藤町　前田好雄
同　本町一　小玉玄三郎
同　同　小宮萬次郎
同　本町五　木下元次郎
同　本町四　水野巖
同　榮町一　島末慶太

女鳩

渡邊默禪

【二四】疑問

そのうちに鳩子は呼吸を仕始めた。見る間に血行機關が活動して心臟の勢ひよく波打つにつれ、皮膚の紅みざして來るのが知れた。頓てうつとりと眼を開いて、不思議さうに周圍を胸しつゝ唇を戰かした。

『鳩、しつかりせんけりや不可んぞ何ぢや、これしきのことに、氣の弱い奴ぢや。しつかりせい。』

子爵は傍から勵まし立てた。そして携帯してゐたブランデーを茶碗に注いで飲ませた。もう其時は肱を突いて首を擡げ得るまでに元氣づいてゐた。みんなは漸と胸を撫下した。

『話ができるか、鳩。』

『はい。どうしたんでせう、私し。病氣なんですか。』

微笑しながら低い聲で父に言つた子爵は漸く手を收めて、

『アハヽヽ、病氣なことを言ひ居る今賊が入つたんぢや、そいでお前氣を失ふとる。で、恁うして皆なが騷ぎ居るんぢやないか。どうしたといふのか一體。』

『あら、泥坊ですつて、まア。』大儀らしく半身を起して『おやあ、やつぱり私し、如何かされたんですね。』

『喉を壓迫されたんぢやなかつたか

そら、見い、こんな物がお前の頸に卷きつけてあつたぞ。』

子爵は蒲團の下に取込んであつた手拭を出して、パツとひろげて見せた。それは中古の地の厚い巾で、端の方に三つ鱗の紋が染めてあつて、其の方に雲中軒龍造と小さく出てゐた。

一同の視線はひとしくその手拭に集中された。取分け生駒は目を刮つて注意深く視詰めてゐた。鳩子は凝然と考へてゐたが、次第に其時の事が意識に泛んで來た。

『あツ分りました。ぢやあ私しそれで絞殺されようとしたんです。』よろ/\と身顫ひしつゝ言つた『何ですかね、私し寢てゐますと急に息苦しくなりましたの。で、夢中に喉を引掻かうとしましたら、手に觸るものがありましたから、いきなり其を引張つて取つて了はうとしたけれども思ふやうにならないんです。氣がついて見ますと、何だか重たい物が蒲團の上に乘つかつてゐるやうで、動くとも如何することも能きませんから一生懸命にお父樣をお呼び申したやうに覺えてゐますが、それから如何なりましたか、氣が遠くなつて些とも存じて居りません。』

『兩うか、それで分つた。ではお前賊の入つた時に目を覺して居つて、聲を立てた譯ではないんぢやね。』

『いゝえ。』

『訝しいのう。』子爵は眉を顰せた。『聲を立てられて止むを得ず手籠にしたんではなくして、熟睡中に左樣な兇行を働いたとすると、單純な物とりを目的とした賊では無いといふことになる。訝しいのう、生駒君。』

『うん。』生駒は力の入つた返辭をした。『御意でございます。併し左樣な道理はあるべき筈がございません。今度の旅行中に別段怨を受けるやうな爭ひをいたした覺はなし、突然惡漢に與襲される理由は毫もないですからなア。無論宿屋荒し、俗に胡麻の蠅といふやつで、金か携帯品を盜む目的で入つて來た鼠賊に違ひはありますまい。一應御荷物を御檢めになつては如何ですか。』

『左樣、調べて見よう。大野、お前は知つとるやらうが、その賊はどんなやつだ。最初に發見したのはお前か、源作か。』

子爵に訊かれて先刻から沈默してゐた大野勇は、徐かに口を明いた。

婦人科 産科 京城壽町四 醫學士 二宮亮吉 二宮醫院 電話一二〇一番

歯科 京城南山町三「巴城館通り」 歯科醫學士 橋本清次郎 電話二九二〇番

新刊紹介

▲日本少年(七月號) 例によつて材料豐富何れも少年の飛び付きさうな面白いものばかり二頁大の南川の挿畫は出だつと思はず叫んで飛び上るかも知れん飛行機となる記は輕快な讀と共にお譚の容換をさせる壯快な冒險談その他川村元帥實話の男將閣內中將八代中將など壯士談や學術談で飾られ一靑に無駄がなくて面白くて而も上品なのが嬉しい(十二錢東京市京橋區南紺屋町實業之日本社)

▲少女の友(七月號) 常に意匠を新にし面白く且有益なる記事を満載するが其の特色なり【姉に與ふる母の手紙】は故郷にある母が姉に手紙の注意を云ひ淺れる手紙にして其思情の溢れる味ふべく又學んで手紙の模範とするに足るもの賢母物語は動植物說話と共に他の雜誌に見ざる特色なり小說には『切支丹少女』『寂しい一生の物語』『あふまで』對話『安らかな眠り』等面白し(十二錢東京市京橋區南紺屋町實業之日本社)

▲婦女界(夏季特別號) 本號は一家經濟號と題し一家經濟の三祕訣(都河龍)一家經濟の根本は夫婦の和合にあり(鳩山春子)家庭に於ける主婦の經濟的價値(棚橋絢子)如何にせば金が出來るか(佐治實然)我家の副業は果して利益か(横井博士)等を初め家庭副業の經驗(實例八種)我家の經濟的財源(實例五種)我家の經濟(實例三種)其の他返しの丸帶家庭で出來る西洋洗濯法等の經濟的記事を満載せり特別二十錢東京牛込婦女界社發行)

▲婦人之友(七月號) 婦人體操號と稱し女性的體操(三宅文學博士)婦人に運動を獎勵したい(大澤醫學博士)統計上から見たる日本婦人の體質(二階堂保則)婦人に適當なる健康法(佐久間醫學士)等を初め女學校を卒業してから婦人用器の選び方等の外特別附錄には新式早縫の秘密簡單に出來る造花の仕方あり(二十錢東京市雜司谷上り屋敷一二四八番社)

▲金星(戰後經濟號) 西山社長、辻村主計總監井上、阪谷兩法學博士、阿部早大教授、淸水太陽生命專務、二宮富士興業理事、稗居第二銀局長畧總局長其他知名の士の戰後に於ける我國商工業に經濟界に及ぼす影響を各方面より論じたる外海運、銀行、保險等に關する記事を收む(二十五錢東京市麹町區有樂町社)

▲ナショナル(四の六)特別號にして礦山及び工場の見學と題す、四六二倍版百三十頁に收むるものは何ぞ曰く久原、古河、住友、藤田組の本邦に於ける代表的礦山の實在記なり曰く神島の亞鉛、北京電氣、鵬界の三共、染料界のモゲンブラツク、藥業界の東洋毛スリンと東洋毛織、大日本人造肥料、等の代表的工場其他製藥の森永、荒池の居井、磯工場の池貝、川崎等我邦斯界の大立者の事業經營振は頁を繰るに從つて眼前に展開す『企業の朝鮮』に在る實業家には特に參考となる事多かるべし(七十錢東京市赤坂區溜池町二番地)

讀者の領分

▲獨南の正日本人君！眞綿に包んで桐の箱に藏つたやうな育て方をされた子供にこの世智辛い煩瑣な浮世で颯一杯の活躍が出來るだらうか千仞の谿底にその兒の强弱を試す獅子の例も月並ながら曩昔の武士が子女教養法は堅忍洞君の一文に近い事をしてゐるでは無いか君のやうな人か自ら正日本人など、名乘りを上げて老人の愚痴のやうな退嬰的な言辭を弄するかと思ふと無暗に心細うなつて來る堅忍洞君の一文に快哉を叫んだ當體は君の泣き言ですつかり氣を腐らせて了つた喝!!(スパルタ生)

▲土曜日の晩赤門倶樂部に藤八拳の會があると聞いて夕方から出掛けて見た中々盛んなものであつた成程座敷運動としては之れ以上のものはない僕も早速入會した別段澤山の費用も入らず誠に結構なもの運動不足の人又は無聊に苦しむ人に入會を勸告す七月一日に第一回の會を催す由(初心者)

▲私は少し旅行して居り歸宅後納稅の通知を見て今日納稅に參りましたら期限が過ぎたから受取られぬと拒まれました納めに行くのを拒むなら納めずと濟むのでしようか係りの人は督促狀を今日出したと云ひましたが何も來ません(憤慨生)

▲産婆の事で色々と讀者の注意がありましたが實も注意生に同感である是非とも若い産婆を矯正して貰はぬと風紀に係る問題であると思ふ明治町邊の若い連中も其の一人である(頼んで困つた女より)

▲本月二十二日朝刊讀者の領分欄にハヘコマルマン氏の蠅に關する投書あり昨年よりも蠅群が倍數にあるとすれば大に研究を要し候拙者直に實地調査致すべきに付御住所氏名御通知被下度尚他にも右樣の箇所あれば直接御通知被下候は幸甚に御坐候(桂洞京城府衛生實行事務所田中京城府囑託)

◉東京三金靴店の特賣 今回東京芝區愛宕下町三金高等靴店にては戰亂の影響にて各靴店の値上實行にも不拘同店は獨當なる材料の持合せと薄利多賣主義にて値上せず爲に各地より多數の注文を受け目下夜多忙を極めつゝあり因に希望者はハガキにて申込めば早見本附目錄を進呈する由

時勢に伴ふ車は辻 附屬品卸小賣共 安價に御取引仕候

京城黄金町三丁目 辻商店 電話一二九〇番

滿蒙處分論 露國大本營クロパトキン將軍原著 定價金一圓 京城日報代理部 振替貯金京城三〇〇番

購買入札 一、麓二萬四千枚外三點 右購買ス詳細ハ大正五年六月廿四日以後ノ本府官報ヲ見ヨ 開城地方納 朝鮮總督府

會員諸君に告ぐ 來る廿五日午前九時より龍山三坂通當會射擊場に於て射擊會開催候條(雨天順延)御出場相成度此段廣告候也 六月廿一日 朝鮮獵友會

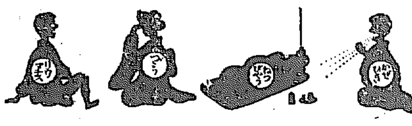
急告 近頃各地へ弊店出張員と稱し注文を受くるもの有るやに聞及候處當店には一切出張致させしことなく無關係に付御取上げなき樣願上候爲念廣告仕候 京城 三越呉服店

見落し給ふな 目下當館に上塲御見物の涙を誘ひつゝある日活會社代表的作品 カチユーシヤ 全四巻 北趣味豊富なる內容充實せるとは他會社の遙かに及ばざる處 泰西活劇 入墨 全三巻 舊劇 血櫻お駒 全三巻 人氣の焦點たる 歌舞舘

新刊書御案內

書名	著者	定價
南洋通覽	保坂彦太郎	四五〇
爪哇とセレベス	八木實通	一二〇
高等女子新作文	吉田 [illegible]	[illegible]
實驗西方教授法	箱崎學 [illegible]	[illegible]
各科教授の實際	小學校研究會	八〇
米麥栽培收長培法	堀川二郎	七五
抵抗養生論	高野太吉	八五
基礎健康法	日田明賢	五五
强健術	渡邊彩山	九五
東西文學比較評論	高安三郎	一〇〇
短歌三百講	與謝野晶子	一〇〇
晶子集	晶子	七五
歌の作りやう	晶子	一〇〇
雛ごゝろ	晶子	七五
南歐の日	有島生馬	一〇〇
小品集泉	田山花袋	一〇〇
金色の花	谷崎潤一郎	五〇
凱潟	上田秀雄	四〇
商品鑑定辭典	中井 [illegible] 外一名	一七〇
名將之戰 上卷	岡谷繁實	一二〇

大阪屋號書店 京城本町 電話二〇八六 振替京城二五七三

最新高等かぜねつ良劑 キナピリン

本舗 大阪市堂島 高橋盛大堂藥局

銚子港 田中玄蕃醸造 ヒゲタ醬油 代理店 櫻正宗 寶元 京城明治町一丁目 山邑京城支店 電話八四九番 振替貯金京城七五番

婦人科 産科 入院分娩應需 京城旭町一丁目 院主 衣笠茂 中央婦人病院 (電話二三四〇番)

くすりは山岸 諸官衙御用達 洋藥 賣藥 卸問屋 醫療及試驗器械 急切叮嚀、迅速確實、に市內配達及び地方通信販賣致居候 京城本町二丁目郵便局前 山岸天佑堂 藥品部 器械部 電話 一二一 一〇七 六〇二 振替貯金京城二〇三

內科 小兒科 外科 花柳病 診察 自午前八時至午後九時 西小門町宮崎院跡 (電話一三一五) 高井醫院分院 院長正六位勳四等 高井貞治 副院長千葉醫學士 松崎正彦

世界名花の精を集めた ツバメ香水 清新な匂は一滴で永く保つ今や上流社會に大好評の流行品

內科 小兒科 (入院隨意) 京城府龍山元町(憲兵隊側) 幾野醫院 電話二〇四番

日韓書房 新版報告 國分著 自修 最新簿記の覺へ方 定價七十錢 送料八錢 山內著 蝶二著 新俳句自在 定價一圓二十錢 送料十二錢 文學士 堀川著 初對面 定價九十五錢 送料十二錢 內田悅五郎著 採鑛設計 定價一圓七十錢 送料十四錢 山科著 鑛物鑑定 定價一圓十錢 送料八錢 京城本町二丁目 電話一四五二・二七番 振替口座一一一五番

新案特許 加温式 生殖器障害器械療法 此器械を用ゆれば其特色たる加温裝置と吸引裝置の能力により發育不全短小陰萎遺精夢精早漏交接不能快味減少等の諸症を確實に速に且つ容易に快治せしむることを得べし而して同時に生殖器の神經を調節して頭腦を快活たらしむるを以て記憶力思考力や憂鬱症等も容易に快癒せしむることを得切手二錢送れば詳細に說明せる冊子を直に送呈す 東京神田駿河臺猿樂町一の二番 東洋醫院器械部

△仁川營業案內▽ (イロハ順)

牛乳搾取販賣 朝夕配達 岩本次郎 仁川牛角洞 電話七六七番

滋養と健康の特は 消毒牛乳 迅速配達 岡田牧場 仁川金谷里 電話七三五番

清酒 甘紅露 燒酎 釀造業 上城商店 仁川花町二丁目 電話七百五十八番 振替京城八八二番

氷一切 うどんそば ストロベリー ウオーター 御注文の方は取次 電話三〇〇番へ 仁川新町 龜屋

內外雜貨 諸金物 輸移入 商 御 合資會社 玉植商店 仁川府外里電話六五一番 支店 京城南大門通三丁目

消毒牛乳 新鮮鷄卵配達 運物用牛乳切手有 藤富牧場 電話一九一番

歐米雜貨商 和洋化粧品 古田商店 仁川本町三丁目 電話六四一番 振替京城二五八八番

陶磁器 精米 石粉卸商 日下部支店 仁川本町四丁目 電話六五十六番 振替京城一四一番

ジャンク運ブローカ元祖 朝鮮 青島 關東州 各沿岸特別迅速に取扱申候 瀨光早介 仁川港町 電話六二六番

尼崎汽船仁川出帆

群山、木浦、釜山、下關、神戶、大阪行
○君が代丸 六月廿三日後四時出帆
○大有丸 六月三十日後四時出帆
○神代丸 七月三日後四時出帆
○秀吉丸 六月廿五日後四時出帆
仁川海岸通一丁目 電話五十九番 高杉回漕部

大阪商船仁川出帆
○外航所要航路(遞準航路を除く)同港線仰乘船の時は五分引を以て往復切符發賣仕候
○群山、木浦、釜山、關門、神戶大阪行
×安東丸 七月一日
○大智丸 七月五日 後五時出
○鎮南浦、群山、神戶、大阪行
○滿洲丸 六月廿八日 後二時出
○木浦、釜山、嚴原、郷の浦、長崎行
×信濃川丸 七月廿二日
×信濃川丸 七月四日 後二時出
○南浦、釜山、關門、神戶、大阪行
○大智丸 六月廿三日 後二時出
○鎮南浦、大連行
×信濃川丸 六月廿九日
×信濃川丸 七月十七日 後二時出
○大連直行
△日米丸 六月廿九日
×福州丸 七月十一日 正午出帆
○群山、神戶、大阪行
○宮島丸 六月廿一日 後五時出
○群山、釜山、横濱行
△日米丸 七月四日
×福州丸 六月廿三日 後二時出
○諸津、浦潮行(元山出帆)
△印八城津西湖津ニ寄港浦潮不寄港
○須磨丸 六月廿八日
△宮島丸 七月四日 後二時出
○上海、基隆、打狗行(大連出帆)
城津丸 七月七日
湖北丸 七月九日 後四時出

御注意
○朝鮮鐵道及び南滿洲鐵道會社との聯絡切符發賣仕候
○印船名は本船出帆前約一時間前渡置送
○×印は一等客御斷り△印は船客御斷り
切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二三番 二二一番
京城切符發賣所 內國通運會社支店 電話七〇八番
四國沿岸各港行船客に對し門司及五割引を以て連絡切符發賣仕候

朝鮮郵船出帆
本社 電話長一九五五・二三三番
支店 出張所 代理店 取扱所 船客の案內
京城南大門驛前 京城代理店 松原運送店(電話長一七〇番)
○全羅丸 七月 一日
○京畿丸 六月廿五日
○咸鏡丸 七月 五日
○雄基丸 六月 五日 釜山發
門司より釜山各港寄港線延期航路
○城津丸 六月 一日
○平壤丸 六月三十日
○昌城丸 六月廿六日 元山發
元山より浦鹽線
○忠清丸 七月 六日
○平壤丸 六月廿九日 元山發
浦潮清津線 釜山より門司又は長崎行
○永興丸 毎月廿八回 元山發 北鮮線元山浦行
○孟德丸 六月廿七日 釜山發 甘浦、九龍浦、浦項各港寄港
○江陵丸 ○漢陽丸 毎日 浦項發 長生浦方魚津各港
○三浦丸 六月廿四日 釜山發 長承浦、鎮水、巨文島濟州島各港
○海州丸 ○統營丸 ○巨濟丸 ○慶尚丸 毎日 釜山發 各港間航路(三日目一回木浦發)
○順天丸 三日目毎二 木浦發 各港經由濟州島行
○公州丸 六月三十日 木浦發 各港經由濟州島行四回
○公州丸 六月廿六日 木浦發 南鮮島嶼行(毎月三回)
○慶興丸 六月廿五日 木浦發 各港經由濟州島行(毎月三回)
○宗信丸 六月廿四日 仁川發 海州他各港鎮南浦
○江原丸 六月廿六日 仁川發 西湖大津芝余行
○麗水丸 六月 日 ○晋州丸 六月廿四日 仁川發 各港經由木浦行
○錦江丸 ○南陽丸 毎日午前 仁川發 江華島、橋洞島、海州行

汽船釜山出帆廣告
○門司、神戶、大阪行 立神丸 六月廿七日後五時出帆
○元山、清津、浦鹽行 立神丸 六月 日後十時出帆
○門司、神戶、大阪行 小倉丸 六月 日後五時出帆
○元山、城津、浦鹽行 小倉丸 六月廿九日後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、清津行 第三琴平丸 六月二十日後六時出帆
○門司、宇品、神戶、大阪行 第三琴平丸 六月 日後六時出帆
住須奈、嚴原、壹岐、博多行
○天與丸 毎月二日九日十四日廿一日廿六日 午後十時出帆
釜山港埋立新町 本船取扱店 大池回漕部

日本郵船仁川出帆
○大連、太沽、牛莊行
相模丸 七月 五日 正午出帆
高砂丸 七月十五日 正午出帆
三河丸 六月廿四日 正午出帆
仁川港町一丁目 電話十一番 堀回漕部

阿波共同汽船仁川出帆
○芝罘、大連行(關東都督府命令船)
第六同九丸 六月廿一日後二時入 六月廿三日前九時出
○城津、淸津、浦鹽行(元山出帆)
第一阪鶴丸 月 日後九時出
○西湖津沿岸各港を經て雄基行
第三共同丸 月 日前八時出 (元山出帆)
阿波國共同汽船株式會社
仁川代理店 本町一丁目 電話(一〇八番) 山下回漕部
元山代理店 春日町(電話一四四番) 田口回漕部
京城取次店 南大門(電話二六八・二〇二) 河村運送店

商況

大阪株式特電

京阪電鐵 和歌山紡 合同紡績 德島紡績 六八.五〇 ……

大阪三品

前場寄付十二圓四十三錢止め三十八錢▲中限寄付十二圓七十五錢止め七十四錢▲先限寄付十三圓二十一錢止め二十八錢

仁川米豆取引所

▲後場小鈍し 大阪の小安き入電に接したるが [illegible]

▲現物界 昨日は [illegible]

寄付 七十一圓七十錢 十一圓六十四錢 十一圓七十錢 ……

七月限 五萬七百石 八月限 八萬五千七百石